

日本循環器学会 会 告

Contents

- 5** 2020年度就任予定社員について
- 14** 第84回日本循環器学会学術集会(JCS2020)・アジア太平洋心臓病学会(APSC2020)
 - 開催概要
 - 事前参加登録のお知らせ
 - プレナリーセッション、シンポジウム開催要領
 - 一般演題採否について
 - 宿泊のご案内
 - 関連会合開催申し込みについてのご案内
- 33** 第4回日本循環器学会基礎研究フォーラム
- 34** 2020年度日本循環器学会基礎研究助成募集要項
- 35** 循環器専門医制度
 - 2020年度認定循環器専門医研修・研修関連施設の指定審査について
 - 循環器 J-OSLER 専攻医ユーザー登録受付開始
 - 2020年度日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 循環器専門医認定更新のご案内
 - 学術集会・地方会での専門医研修単位登録について／専門医認定更新の手続きについて
 - 「循環器専門医カード」再発行のご案内／循環器専門医カード再発行申請書
- 45** 地方会・関連学会・研究会情報
 - 日本循環器学会地方会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 50** ACLS 講習会情報
- 56** 心不全療養指導士制度の創設に関するお知らせ
- 57** 会員様の勤務施設における禁煙対策に関するアンケートの実施について
- 58** 映像教材販売のご案内
- 64** 事務局からのお知らせ
 - 登録事項変更届

2019 No.4

頻脈性心房細動治療に
テープ剤という
新たな選択肢。



経皮吸収型・ β_1 遮断剤 薬価基準収載

処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

β ビソノ テープ[®] 4mg・8mg
(ビソプロロール・テープ剤) **Bisono[®] tape 4mg・8mg**

効能・効果
追加

テープ剤
改良

経皮吸収型・ β_1 遮断剤 薬価基準収載

処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

β ビソノ テープ[®] 2mg
(ビソプロロール・テープ剤) **Bisono[®] tape 2mg**

新発売

ビソノテープの特性

- 1 本態性高血圧症、頻脈性心房細動治療薬[※]にテープ剤という、新たな選択肢。
- 2 24時間にわたり降圧効果と心拍数調節効果を示します。
- 3 頻脈性心房細動治療の用量調節を可能にするため、2mgを追加。
- 4 汗をかくてもはがれにくい製剤に改良しました。
- 5 本態性高血圧症(軽症～中等症)承認時における副作用は789例中233例(29.5%)に認められ、主なものは適用部位そう痒感56例(7.1%)、適用部位皮膚炎29例(3.7%)、適用部位紅斑17例(2.2%)等でした。また、主な臨床検査値異常変動は、血中トリグリセリド増加20例(2.5%)、ALT(GPT)の上昇13例(1.6%)、血中尿酸増加12例(1.5%)、好酸球百分率増加12例(1.5%)等でした。頻脈性心房細動承認時における副作用は247例中43例(17.4%)に認められ、主なものは適用部位皮膚炎9例(3.6%)、適用部位そう痒感6例(2.4%)、心不全3例(1.2%)等でした。また、臨床検査値異常変動は3例(1.2%)であり、肝機能検査値上昇2例(0.8%)、血小板数減少1例(0.4%)でした。重大な副作用として心不全(0.6%)、完全房室ブロック、高度徐脈、洞不全症候群(いずれも頻度不明)が報告されています。

※: ビソノテープ2mgの効能・効果: 頻脈性心房細動 ビソノテープ4mg・8mgの効能・効果: 本態性高血圧症(軽症～中等症)、頻脈性心房細動

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】(抜粋)

1. 高度の徐脈(著しい洞性徐脈)、房室ブロック(Ⅱ、Ⅲ度)、洞房ブロック、洞不全症候群のある患者
2. 糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスのある患者
3. 心原性ショックのある患者
4. 肺高血圧による右心不全のある患者
5. 強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者
6. 非代償性の心不全患者
7. 重度の末梢循環障害のある患者(壊疽等)
8. 未治療の褐色細胞腫の患者
9. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
10. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】 1. 本態性高血圧症(軽症～中等症) 2. 頻脈性心房細動(ビソノテープ2mgの効能・効果は頻脈性心房細動のみ)

【用法・用量】 1. 本態性高血圧症(軽症～中等症) 通常、成人にはビソプロロールとして8mgを1日1回、胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。なお、年齢、症状により1日1回4mgから投与を開始し、1日最大投与量は8mgとする。2. 頻脈性心房細動 通常、成人にはビソプロロールとして1日1回4mgか

ら投与開始し、効果が不十分な場合には1日1回8mgに増量する。本剤は胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最大投与量は8mgとする。

【用法・用量に関連する使用上の注意】 (1) 褐色細胞腫の患者では、本剤の単独投与により急激に血圧が上昇することがあるので、 α 遮断剤で初期治療を行った後に本剤を投与し、常に α 遮断剤を併用すること。(2) 腎機能障害のある患者では、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため低用量から投与を開始することを考慮すること。〔薬物動態〕の項参照。(3) 頻脈性心房細動を合併する本態性高血圧症の患者に投与する場合、頻脈性心房細動の用法・用量は1日1回4mgから開始することに留意した上で、各疾患の指標となる血圧や心拍数、症状等に応じ、開始用量を設定すること。

【使用上の注意】(抜粋) 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1) 気管支喘息、気管支痙攣のおそれのある患者 (2) うっ血性心不全のおそれのある患者 (3) 特発性低血糖症、コントロール不十分な糖尿病、長期間絶食状態の患者 (4) 甲状腺中毒症の患者 (5) 腎機能障害のある患者 (6) 重篤な肝機能障害のある患者 (7) 末梢循環障害のある患者(レイノー症候群、間欠性跛行症等) (8) 徐脈、房室ブロック(Ⅰ度)のある患者 (9) 過度に血圧の低い患者 (10) 異型狭心症の患者 (11) 乾癆の患者又は乾癆の既往のある患者 (12) 高齢者 2. 重要な基本的注意 (1) 投与が長期にわたる場合は、心機能検査(脈拍、血圧、心電図、X線等)を定期的に行うこと。徐脈又は低血圧の症状があらわれた場合には減量又は投与を中止すること。また、必要に応じアトロピンを使用すること。なお、肝機能、腎機能、血液像等に注意すること。(2) 類似化合物(プロプラノロール塩酸塩)使用中の狭心症患者で急に投与を中止したとき、症状が悪化したり、心筋梗塞を起こした症例が報告されているので、休薬を要する場合は徐々に減量し、観察を十分に行うこと。また、患者に医師の指示なしに使用を中止しないよう注意すること。特に高齢者においては同様の注意を要すること。(3) 甲状腺中毒症の患者では急に投与を中止すると、症状が悪化することがあるので、休薬を要する場合には徐々に減量し、観察を十分に行うこと。(4) 手術前48時間は投与しないことが望ましい。(5) めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、本剤投与中の患者(特に投与初期)には自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。(6) 心不全を合併する患者では本剤投与により心不全の症状を悪化させる可能性があるため、心機能検査を行う等、観察を十分に行うこと。(7) 本剤の貼付により皮膚症状を起こすことがあるので、本剤の使用が適切であるか慎重に判断すること。また、本剤の貼付に際しては貼付部位を毎回変更すること。皮膚症状があらわれた場合には、ステロイド軟膏等を投与するか、本剤を投与中止するなど適切な処置を行うこと。3. 相互作用 併用注意(併用に注意すること) 交感神経系に対し抑制的に作用する薬剤(レセルピン等)、血糖降下剤(インスリン製剤、トリアミド等)、Ca拮抗剤(ベパミル塩酸塩、シルチアゼム塩酸塩等)、ジギタリス製剤(ジゴキシン、メチルジゴキシン)、クロニジン塩酸塩、アナベズ酢酸塩、クラスⅠ抗不整脈剤(ジソピラミドリン酸塩、プロカイナム塩酸塩、アジマリン等)、クラスⅢ抗不整脈剤(アミオダロン塩酸塩)、非ステロイド性抗炎症剤(インドメタシン等)、降圧作用を有する薬剤(降圧剤、硝酸剤)、フィンゴリモド塩酸塩 4. 副作用 本態性高血圧症 臨床試験(承認時まで): 総症例数789例中、副作用が報告されたのは233例(29.5%)であり、その主なものは、適用部位そう痒感56例(7.1%)、適用部位皮膚炎29例(3.7%)、適用部位紅斑17例(2.2%)等であった。また、主な臨床検査値異常変動は、血中トリグリセリド増加20例(2.5%)、ALT(GPT)の上昇13例(1.6%)、血中尿酸増加12例(1.5%)、好酸球百分率増加12例(1.5%)等であった。頻脈性心房細動 臨床試験(承認時まで): 総症例数247例中、副作用が報告されたのは43例(17.4%)であり、その主なものは、適用部位皮膚炎9例(3.6%)、適用部位そう痒感6例(2.4%)、心不全3例(1.2%)等であった。また、臨床検査値異常変動が報告されたのは3例(1.2%)であり、肝機能検査値上昇2例(0.8%)、血小板数減少1例(0.4%)であった。(1) 重大な副作用 心不全(0.6%)、完全房室ブロック、高度徐脈、洞不全症候群(いずれも頻度不明)があらわれることがあるので、心機能検査を定期的に行い、このような副作用が発現した場合には減量又は投与を中止するなどの適切な処置を行うこと。

■その他の使用上の注意等詳細は、製品添付文書をご参照下さい。

トーアエイヨー
製造販売

astellas
販売 アステラス製薬

2019年6月作成
(BTA41061)

体外診断用医薬品

認証番号 228ABEZ00080000

保険適用

ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白キット

ヴェリファスト®H-FABP



1回用



5回用

使用目的、用法・用量を含む使用上の注意等については
添付文書を参照してください。

包装：テストプレート 1枚(1回用) / 5枚(5回用)

製造販売業者

バイオリンクス株式会社

〒224-0065

神奈川県横浜市都筑区高山 18-6

製造元

株式会社日本凍結乾燥研究所

東京都清瀬市松山三丁目 1 番 5 号

販売元

日本ビーシージー製造株式会社

(資料請求先)

カスタマーセンター

〒112-0012

東京都文京区大塚一丁目 5 番 21 号

TEL 03-5395-5590

<http://www.bcg.gr.jp/>



The Japanese Circulation Society's official scientific journals

✦ Impact Factor 2018: 3.025

✦ Volume 83 in 2019 (launched in 1935)

✦ Three kinds of award:

1. Circulation Journal award for best original research papers
2. Asian award for best paper submitted from Asian countries
3. Best Reviewers award for most-contributing reviewers



Circulation Journal

Are you interested in our peer-reviewed articles??

Check our access-free online journals from the QR codes here!

Circulation Reports

✦ Launched in January 2019

✦ Open Access as of October 2019

✦ Quick review and publication:

- 37.2 days from manuscript receipt to acceptance
- 27.6 days from manuscript acceptance to online publication

(average of vol.1-1 through vol.1-6)



2020年度就任予定社員について

2019年度実施代議員(社員)選挙実施に際して、ご協力賜りまして誠にありがとうございました。
2020年度就任予定社員が確定いたしました事をご報告いたします。

選挙管理委員会 委員長 小川 久雄

2020年度就任予定社員

※敬称略

北海道支部				
内科	安斉 俊久	北海道大学大学院医学研究院	教授	男性
内科	齋藤 重幸	札幌医科大学保健医療学部	教授	男性
内科	丹野 雅也	札幌医科大学附属病院	准教授	男性
内科	土橋 和文	札幌医科大学附属病院	教授	男性
内科	三浦 哲嗣	札幌医科大学医学部	教授	男性
内科	三木 隆幸	札幌医科大学医学部	准教授	男性
内科	矢野 俊之	札幌医科大学医学部	講師	男性
外科	川原田 修義	札幌医科大学	教授	男性
その他分野(基礎含む)	大西 浩文	札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座	教授	男性
女性	高木 千佳	北海道社会事業協会小樽病院	部長	女性
女性	村中 敦子	札幌医科大学医学部	助教	女性
東北支部				
内科	阿部 芳久	秋田県立循環器・脳脊髄センター	部長	男性
内科	伊藤 智範	岩手医科大学	教授	男性
内科	小丸 達也	東北医科薬科大学	教授	男性
内科	佐々木 真吾	弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座	准教授	男性
内科	竹石 恭知	福島県立医科大学医学部	主任教授	男性
内科	富田 泰史	弘前大学大学院医学研究科	教授	男性
内科	中里 和彦	福島県立医科大学	准教授	男性
内科	森野 禎浩	岩手医科大学医学部	教授	男性
内科	渡邊 哲	山形大学医学部附属病院	准教授	男性
内科	渡邊 博之	秋田大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	渡辺 昌文	山形大学医学部	教授	男性
外科	金 一	岩手医科大学医学部	教授	男性
外科	齋木 佳克	東北大学大学院医学系研究科	教授	男性
その他分野(基礎含む)	堀内 久徳	東北大学加齢医学研究所	教授	男性
女性	飯野 貴子	秋田大学大学院医学系研究科		女性
女性	富岡 智子	みやぎ県南中核病院	主任部長	女性

関東甲信越支部				
内科	赤澤 宏	東京大学大学院医学系研究科	講師	男性
内科	明石 嘉浩	聖マリアンナ医科大学	教授	男性
内科	阿古 潤哉	北里大学医学部	教授	男性
内科	浅井 邦也	日本医科大学千葉北総病院	部長	男性
内科	足立 健	防衛医科大学校循環器内科	教授	男性
内科	家田 真樹	筑波大学附属病院		男性
内科	伊莉 裕二	東海大学医学部	教授	男性
内科	井口 信雄	榊原記念病院	部長	男性
内科	池田 隆徳	東邦大学大学院医学研究科	教授	男性
内科	池脇 克則	防衛医科大学校	教授	男性
内科	石上 友章	横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学		男性
内科	石川 利之	横浜市立大学附属病院循環器内科	教授	男性
内科	井上 晃男	獨協医科大学	教授	男性
内科	岩永 史郎	埼玉医科大学国際医療センター	教授	男性
内科	小川 洋司	東京女子医科大学心臓病センター	准教授	男性
内科	奥村 恭男	日本大学医学部附属板橋病院	助教	男性
内科	落合 正彦	昭和大学横浜市北部病院	教授	男性
内科	菊尾 七臣	自治医科大学	主任教授	男性
内科	河村 朗夫	国際医療福祉大学		男性
内科	倉林 正彦	群馬大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	桑原 宏一郎	信州大学循環器内科	教授	男性
内科	上妻 謙	帝京大学医学部	教授	男性
内科	河野 隆志	杏林大学医学部付属病院	准教授	男性
内科	合屋 雅彦	東京医科歯科大学医学部附属病院	准教授	男性
内科	小谷 英太郎	日本医科大学多摩永山病院	講師	男性
内科	木庭 新治	昭和大学医学部	教授	男性
内科	小林 欣夫	千葉大学大学院医学研究院	教授	男性
内科	小林 義典	東海大学医学部付属八王子病院循環器内科	教授	男性
内科	小室 一成	東京大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	笹野 哲郎	東京医科歯科大学	教授	男性
内科	佐藤 明	筑波大学 医学医療系	准教授	男性
内科	佐野 元昭	慶應義塾大学医学部	准教授	男性
内科	清水 渉	日本医科大学付属病院	主任教授	男性
内科	庄田 守男	東京女子医科大学	臨床教授	男性
内科	新家 俊郎	昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門	教授	男性

内科	鈴木 洋	昭和大学藤が丘病院	教授	男性
内科	高瀬 凡平	防衛医科大学校病院	部長	男性
内科	高月 誠司	慶應義塾大学医学部	准教授	男性
内科	高野 仁司	日本医科大学	准教授	男性
内科	瀧本 英樹	東京大学医学部	講師	男性
内科	田口 功	獨協医科大学埼玉医療センター	主任教授	男性
内科	田邊 健吾	三井記念病院	部長	男性
内科	谷 樹昌	日本大学病院	准教授	男性
内科	田村 功一	横浜市立大学医学部	教授	男性
内科	丹野 郁	昭和大学江東豊洲病院	教授	男性
内科	近森 大志郎	東京医科大学	教授	男性
内科	東口 治弘	東京大学医学部附属病院	特任准教授	男性
内科	仲野 美代	千葉大学大学院医学研究院		女性
内科	中村 正人	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科	教授	男性
内科	西岡 利彦	埼玉医科大学総合医療センター	教授	男性
内科	野上 昭彦	筑波大学 医学医療系	教授	男性
内科	萩原 誠久	東京女子医科大学	主任教授	男性
内科	原 英彦	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科	准教授	男性
内科	日比 潔	横浜市立大学附属市民総合医療センター循環器内科	准教授	男性
内科	廣 高史	赤羽中央総合病院	病院長	男性
内科	福田 恵一	慶應義塾大学循環器内科	教授	男性
内科	藤田 英雄	自治医科大学附属さいたま医療センター	教授	男性
内科	藤本 善英	千葉大学医学部附属病院	副部長	男性
内科	松本 直也	日本大学病院	教授	男性
内科	南野 徹	国立大学法人新潟大学大学院医歯学総合研究科	教授	男性
内科	宮内 克己	順天堂東京江東高齢者医療センター	教授	男性
内科	宮内 秀行	千葉大学大学院医学研究院	助教	男性
内科	宮内 靖史	日本医科大学千葉北総病院	部長	男性
内科	村松 俊裕	埼玉医科大学国際医療センター	教授	男性
内科	森田 啓行	東京大学大学院医学系研究科	講師	男性
内科	諸井 雅男	東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野(大橋)	教授	男性
内科	山口 淳一	東京女子医科大学心臓病センター		男性
内科	山本 剛	日本医科大学付属病院	助手	男性
内科	吉村 道博	東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科	主任教授	男性
内科	依田 俊一	日本大学医学部附属板橋病院	助教	男性
外科	石井 庸介	日本医科大学	准教授	男性

外科	萩野 均	東京医科大学	教授	男性
外科	小野 稔	東京大学大学院医学系研究科	教授	男性
外科	齋藤 綾	東邦大学医療センター佐倉病院	准教授	女性
外科	志水 秀行	慶應義塾大学医学部	教授	男性
外科	鈴木 孝明	埼玉医科大学国際医療センター	教授	男性
外科	新浪 博士	東京女子医科大学	主任教授	男性
外科	益田 宗孝	横浜市立大学外科治療学	主任教授	男性
外科	三島 健人	新潟大学医歯学総合病院	助教	男性
外科	本村 昇	東邦大学医療センター佐倉病院	教授	男性
小児科	先崎 秀明	北里大学医学部	教授	男性
小児科	山岸 敬幸	慶應義塾大学医学部	教授	男性
その他分野(基礎含む)	磯 良崇	昭和大学スポーツ運動科学研究所	准教授	男性
その他分野(基礎含む)	志賀 剛	東京慈恵会医科大学	教授	男性
その他分野(基礎含む)	陣崎 雅弘	慶應義塾大学医学部	教授	男性
女性	五十嵐 都	筑波大学 医学医療系		女性
女性	石津 智子	筑波大学 医学医療系	講師	女性
女性	岩本 眞理	済生会 横浜市東部病院総合小児科・こどもセンター	センター長	女性
女性	遠藤 彩佳	東京都済生会中央病院	副医長	女性
女性	小菅 雅美	横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター	客員教授	女性
女性	佐藤 加代子	東京女子医科大学		女性
女性	哲翁-塚田 弥生	日本医科大学武蔵小杉病院	センター長	女性
女性	中井 俊子	日本大学医学部附属板橋病院	准教授	女性
女性	中尾 倫子	東京大学医学部附属病院	助教	女性
女性	中西 理子	東邦大学大学院医学系研究科循環器内科学	講師	女性
女性	古川 佳子	山王メディカルセンター	准教授	女性
女性	細谷 弓子	東京大学医学部附属病院	助教	女性
女性	前田 知子	榊原記念クリニック		女性
女性	宮内 瑞穂	日本医科大学付属病院	非常勤講師	女性
東海支部				
内科	天野 哲也	愛知医科大学	教授	男性
内科	井澤 英夫	藤田医科大学 ばんだね病院	教授	男性
内科	石井 秀樹	名古屋大学大学院医学系研究科	講師	男性
内科	因田 恭也	名古屋大学大学院医学系研究科	准教授	男性
内科	大倉 宏之	岐阜大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	大手 信之	名古屋市立大学大学院医学研究科	教授	男性
内科	金森 寛充	岐阜大学大学院医学系研究科	准教授	男性

内科	川口 克廣	小牧市民病院	副院長	男性
内科	栗田 泰郎	三重大学医学部附属病院		男性
内科	近藤 隆久	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	早乙女 雅夫	浜松医科大学内科学第三講座循環器科	病院講師	男性
内科	皿井 正義	藤田医科大学医学部	病院教授	男性
内科	瀬尾 由広	名古屋市立大学大学院医学研究科	准教授	男性
内科	土肥 薫	三重大学医学部附属病院		男性
内科	野田 俊之	岐阜県総合医療センター	副院長	男性
内科	前川 裕一郎	浜松医科大学	教授	男性
内科	室原 豊明	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	山田 典一	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副病院長	男性
内科	早稲田 勝久	愛知医科大学	教授(特任)	男性
内科	渡邊 英一	藤田医科大学医学部	教授	男性
内科	度会 正人	安城更生病院	副院長	男性
外科	碓氷 章彦	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	男性
外科	古森 公浩	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	男性
外科	土井 潔	岐阜大学大学院医学系研究科		男性
小児科	三谷 義英	三重大学医学部附属病院	病院教授	男性
その他分野(基礎含む)	永田 浩三	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	男性
女性	今中 恭子	三重大学大学院医学系研究科	研究教授	女性
女性	坂東 泰子	名古屋大学医学部附属病院	講師	女性
女性	元山 貞子	藤田医科大学	教授	女性
北陸支部				
内科	臼田 和生	富山県立中央病院	部長	男性
内科	梶波 康二	金沢医科大学	教授	男性
内科	川尻 剛照	金沢大学医薬保健研究域医学系	准教授	男性
内科	絹川 弘一郎	富山大学附属病院	教授	男性
内科	高村 雅之	金沢大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	茅田 浩	福井大学医学部	教授	男性
外科	竹村 博文	金沢大学	教授	男性
近畿支部				
内科	赤尾 昌治	京都医療センター	部長	男性
内科	赤阪 隆史	和歌山県立医科大学医学部	教授	男性
内科	朝倉 正紀	兵庫医科大学		男性
内科	石田 達郎	神戸大学医学部附属病院		男性
内科	石原 正治	兵庫医科大学	主任教授	男性

内科	岩倉 克臣	桜橋渡辺病院	医長	男性
内科	岩永 善高	近畿大学医学部	講師	男性
内科	尾野 亘	京都大学大学院医学研究科	准教授	男性
内科	片岡 亨	医療法人生長会ベルランド総合病院	部長	男性
内科	加藤 貴雄	京都大学医学部附属病院		男性
内科	木島 祥行	星ヶ丘医療センター	副院長	男性
内科	木村 剛	京都大学医学部附属病院	教授	男性
内科	草野 研吾	国立循環器病研究センター	部長	男性
内科	斎藤 能彦	奈良県立医科大学	教授	男性
内科	坂田 泰史	大阪大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	塩島 一朗	関西医科大学	教授	男性
内科	静田 聡	京都大学大学院医学研究科	講師	男性
内科	白石 裕一	京都府立医科大学	講師	男性
内科	白山 武司	京都府立医科大学	准教授	男性
内科	高谷 具史	兵庫県立姫路循環器病センター	科長, 部長	男性
内科	田中 秀和	神戸大学大学院医学研究科	助教	男性
内科	寺崎 文生	大阪医科大学	教授	男性
内科	土肥 直文	奈良県西和医療センター	部長	男性
内科	中川 義久	滋賀医科大学	教授	男性
内科	中谷 敏	大阪大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	成子 隆彦	大阪市立総合医療センター	部長	男性
内科	野口 暉夫	国立循環器病研究センター		男性
内科	平田 健一	神戸大学大学院医学研究科	教授	男性
内科	福沢 公二	神戸大学医学部附属病院	助教	男性
内科	星賀 正明	大阪医科大学	専門教授	男性
内科	増山 理	星ヶ丘医療センター	院長	男性
内科	的場 聖明	京都府立医科大学大学院医学研究科	教授	男性
内科	安田 聡	国立循環器病研究センター	副院長	男性
内科	山下 智也	神戸大学医学部附属病院	助教	男性
内科	山田 浩之	京都府立医科大学	講師	男性
内科	葭山 稔	大阪市立大学大学院医学研究科	教授	男性
内科	和田 厚幸	草津総合病院		男性
外科	岡田 健次	神戸大学大学院医学研究科	教授	男性
外科	勝間田 敬弘	大阪医科大学	主任教授	男性
外科	坂口 元一	近畿大学医学部		男性
外科	澤 芳樹	大阪大学大学院医学系研究科	教授	男性

外科	柴田 利彦	大阪市立大学医学部		男性
外科	谷口 繁樹	奈良県立医科大学	教授	男性
外科	西村 好晴	和歌山県立医科大学医学部	教授	男性
外科	藤田 知之	国立循環器病研究センター		男性
外科	湊谷 謙司	京都大学医学部附属病院		男性
外科	夜久 均	京都府立医科大学大学院医学研究科	教授	男性
小児科	上村 秀樹	奈良県立医科大学	教授	男性
小児科	成田 淳	大阪大学医学部附属病院		男性
その他分野(基礎含む)	三浦 克之	滋賀医科大学	教授	男性
その他分野(基礎含む)	森下 竜一	大阪大学大学院医学系研究科	教授	男性
女性	泉 知里	国立循環器病研究センター		女性
女性	神崎 裕美子	大阪医科大学医学部	講師	女性
女性	小林 成美	神戸大学大学院医学研究科	特命講師	女性
女性	小原 幸	京都薬科大学	准教授	女性
女性	瀧原 圭子	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター	教授	女性
女性	宮坂 陽子	関西医科大学	講師	女性
女性	山本 裕美	近畿大学医学部	講師	女性
中国支部				
内科	伊藤 浩	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	男性
内科	上村 史朗	川崎医科大学	教授	男性
内科	門田 一繁	倉敷中央病院	部長	男性
内科	田邊 一明	島根大学医学部	教授	男性
内科	中村 一文	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	准教授	男性
内科	矢野 雅文	山口大学大学院医学系研究科	教授	男性
内科	山本 一博	鳥取大学医学部	教授	男性
内科	山本 健	山口大学大学院医学系研究科	教授	男性
外科	織田 禎二	島根大学医学部	教授	男性
外科	笠原 真悟	岡山大学病院	教授	男性
外科	種本 和雄	川崎医科大学	教授	男性
外科	西村 元延	鳥取大学医学部	教授	男性
外科	濱野 公一	山口大学大学院医学系研究科	教授	男性
その他分野(基礎含む)	赤木 禎治	岡山大学病院	准教授	男性
その他分野(基礎含む)	加藤 雅彦	鳥取大学医学部	教授	男性
女性	谷山 真規子	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	講師	女性
女性	福江 宣子	徳山医師会病院	医長	女性

四国支部				
内科	岡山 英樹	愛媛県立中央病院		男性
内科	北岡 裕章	高知大学医学部	教授	男性
内科	佐田 政隆	徳島大学大学院医歯薬学研究部	教授	男性
内科	土井 正行	香川県立中央病院		男性
内科	細川 忍	徳島赤十字病院	部長	男性
内科	南野 哲男	香川大学医学部	教授	男性
内科	山口 修	愛媛大学大学院	教授	男性
外科	泉谷 裕則	愛媛大学医学部	教授	男性
外科	堀井 泰浩	香川大学医学部	教授	男性
女性	中岡 洋子	近森病院	科長	女性
女性	松浦 朋美	徳島大学病院循環器内科		女性
九州支部				
内科	足達 寿	久留米大学医学部地域医療連携講座	教授	男性
内科	池田 聡司	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	講師	男性
内科	大石 充	鹿児島大学医学部	教授	男性
内科	大屋 祐輔	琉球大学大学院医学研究科	教授	男性
内科	小川 正浩	福岡大学病院	診療教授	男性
内科	甲斐 久史	久留米大学医学部附属医療センター	教授	男性
内科	海北 幸一	熊本大学大学院生命科学研究部	准教授	男性
内科	勝田 洋輔	福岡大学西新病院	副病院長	男性
内科	河野 浩章	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	准教授	男性
内科	河村 彰	福岡大学病院 卒後臨床研修センター	准教授	男性
内科	窪田 琢郎	鹿児島大学大学院		男性
内科	坂本 憲治	熊本大学大学院生命科学研究部		男性
内科	藺田 正浩	国立病院機構 鹿児島医療センター		男性
内科	高橋 尚彦	大分大学医学部	教授	男性
内科	辻田 賢一	熊本大学大学院生命科学研究部	教授	男性
内科	筒井 裕之	九州大学大学院医学研究院	教授	男性
内科	中尾 浩一	済生会熊本病院	病院長	男性
内科	中島 均	国立病院機構 鹿児島医療センター	医長	男性
内科	野出 孝一	佐賀大学医学部	教授	男性
内科	福本 義弘	久留米大学医学部内科学講座	主任教授	男性
内科	藤見 幹太	福岡大学病院	助教	男性
内科	掃本 誠治	熊本市立植木病院	院長	男性
内科	前村 浩二	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	男性

内科	三浦 伸一郎	福岡大学病院	主任教授	男性
内科	宮田 昌明	鹿児島市立病院		男性
内科	湯浅 敏典	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	講師	男性
外科	江石 清行	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	男性
外科	田中 啓之	久留米大学医学部	主任教授	男性
外科	福井 寿啓	熊本大学病院	教授	男性
外科	宮本 伸二	大分大学医学部附属病院	教授	男性
小児科	本村 秀樹	国立病院機構 長崎医療センター	医長	男性
その他分野(基礎含む)	光山 勝慶	熊本大学大学院生命科学研究部	教授	男性
女性	伊藤 美和	熊本大学病院	特任助教	女性
女性	窪田 佳代子	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	講師	女性
女性	中川 幹子	大分大学医学部	教授	女性
女性	森戸 夏美	福岡大学博多駅クリニック		女性
女性	吉田 典子	久留米大学		女性

第84回日本循環器学会学術集会(JCS2020)・アジア太平洋心臓病学会(APSC2020)

開催概要

会 期：2020年3月13日(金)～15日(日)
 会 長：木村 剛 (京都大学大学院医学研究科 循環器内科学 教授)
 会 場：国立京都国際会館, グランドプリンスホテル京都

メインテーマ：Change Practice!!

合同開催

Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2020(APSC2020)
 会 期：2020年3月12日(木)～14日(土)
 会 長：赤坂 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科 教授)
 会 場：国立京都国際会館, グランドプリンスホテル京都
 メインテーマ：Evolution & Collaboration

参加費と専門医単位のご案内

第84回学術集会は APSC2020 の共催により、参加費を変更しています。

なお、専門医単位は単位登録の手続きをしていただくことで、学術集会 参加単位10単位と APSC 参加単位 5 単位(合計15単位)が付与されます。

(円)

参加区分	参加費(事前) 2019年10月30日(水) ～ 2020年2月13日(木)	参加費(当日)	必要な提示物
日本循環器学会正会員	18,000	22,000	—
日本循環器学会準会員	6,000	8,000	—
非会員	35,000	40,000	—
非会員(コメディカル)	7,000	9,000	所定の証明書
研修医(前期)	当日登録のみ	無料	所定の証明書
大学院生(日本人医師を除く)			学生証
学部学生(医学部・薬学部・工学部等を含む)			学生証
海外参加者 (日本からの留学生は除く)	35,000	40,000	—
	団体10名につき、1名無料		
在日留学生	—	6,000	所定の証明書

1. 一般演題

2. 美甘レクチャー (日本心臓財団美甘基金)

Patrick W. Serruys (Imperial College, London, UK)

3. 真下記念講演

萩原 正敏(京都大学大学院医学研究科 生体構造医学講座 形態形成機構学 教授)

4. 海外招聘演者 (2019年11月8日現在)

[JCS2020]

David S. Bach	(University of Michigan, USA)
Sang Hong Baek	(Seoul St. Mary's Hospital, The Catholic University of Korea, Korea)
Hiroko Beck	(University at Buffalo, USA)
Eduardo Bianco	(Framework Convention Alliance (FCA), Uruguay)
Hugh Calkins	(The Johns Hopkins Hospital, USA)
Geneviève A Campello-Derumeaux	(APHP, INSERM, France)
John D. Carroll	(University of Colorado School of Medicine, USA)
Barbara Casadei	(University of Oxford / European Society of Cardiology, UK)
Hyuk-Jae Chang	(Yonsei University Severance Hospital, South Korea)
Tze-Fan Chao	(Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)
Shih-An Chen	(Taipei Veterans General Hospital, National Yang Ming University, Taiwan)
Goo-Yeong Cho	(Seoul National University Bundang Hospital, South Korea)
Bruce Conklin	(Gladstone Institutes, USA)
Anne B. Curtis	(Jacobs School of Medicine and Biomedical Sciences, University at Buffalo, USA)
Stefanie Dimmeler	(Goethe University Frankfurt, Institute of Cardiovascular Regeneration, Germany)
Jean-Charles, B., F. Fruchart	(Residual Risk Reduction Initiative (R3i) Foundation, Morocco)
Moritoshi Funasako	(Na Homolce Hospital, Czech Republic)
Junbo Ge	(Dept. of Cardiology, Zhongshan Hospital Fudan University, China)
Andreas Goette	(St. Vincenz Hospital Paderborn, Germany)
Robert Gropler	(Mallinckrodt Institute of Radiology, Washington University School of Medicine, USA)
Robert A. Harrington	(Stanford University, USA)
Joseph A Hill	(UT Southwestern Medical Center, USA)
Myeong-Ki Hong	(Severance Cardiovascular Hospital, Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea)
Ciro Indolfi	(Magna Graecia University, Catanzaro, Italy)
Haibo Jia	(The Second Affiliated Hospital of Harbin Medical University, China)
Navin K. Kapur	(Tufts Medical Center, USA)
Saibal Kar	(Cedars-Sinai Medical Center, USA)
Adnan Kastrati	(Deutsches Herzzentrum München, Germany)
Upendra Kaul	(Chairman and Dean Academics and Research, Batra Heart Center & Batra Hospital and Medical Research Center, India)

Masashi Kawabori	(Tufts Medical Center, Cardiac Surgery, USA)
Hyo-Soo Kim	(Cardiovascular Center, Seoul National University Hospital, Korea)
Kee-Sik Kim	(School of Medicine, Daegu Catholic University, Korea (South))
Michel Komajda	(Department of Cardiology, Saint Joseph Hospital, France)
Stavros Konstantinides	(University Medical Center Mainz, Germany)
Bon Kwon Koo	(Seoul National University Hospital, Republic of Korea)
Bonnie Ky	(University of Pennsylvania School of Medicine, USA)
Jonathan Leipsic	(The University of British Columbia, Vancouver Coastal Health, Providence Healthcare, Canada)
Martin B. Leon	(Columbia University Medical Center, USA)
Peter Libby	(Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School, USA)
Gregory YH Lip	(University of Liverpool/Liverpool Heart & Chest Hospital NHS Trust, UK)
Bin Liu	(Department of Cardiology, the Second Hospital of Jilin University, China)
Martin Maron	(Tufts Medical Center, USA)
Nassir F. Marrouche	(Utah University, USA)
James F Martin	(Professor, Baylor College of Medicine, USA)
Felipe Alberto Martinez	(Instituto DAMIC- Fundacion Ruscullada, Argentina)
Darren McGuire	(University of Texas Southwestern Medical Center, USA)
Alexandre Mebazaa	(Hôpital Lariboisière, University Paris 7, France)
Jeffery D. Molkentin	(Cincinnati Children's Hospital Medical Center, USA)
Koonlawee Nademanee	(Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Thailand)
Hiroshi Nakagawa	(Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA)
Pradeep Natarajan	(Massachusetts General Hospital, USA)
Petr Neuzil	(Na Homolce Hospital, Czech Republic)
Stephen J. Nicholls	(Monash University, Australia)
Clare Nicholls	(Green Lane Paediatric and Congenital Cardiology, New Zealand)
Jae K. Oh	(Mayo Clinic, USA)
Yoshinobu Onuma	(Thoraxcenter, Erasmus Medical Center, Netherlands)
John Ormiston	(Intra, New Zealand)
Catherine M. Otto	(University of Washington School of Medicine, USA)
Douglas L. Packer	(Mayo Clinic Hospital, St. Mary's Campus, USA)
Seung-Jung Park	(Asan Medical Center, Korea)
Duk-Woo Park	(Asan Medical Center, Korea)
Kirk L. Peterson	(University of California, San Diego, School of Medicine, USA)
Fausto J. Pinto	(Faculdade de Medicina da Universidade de Lisboa, Portugal)

Marc Steven Sabatine	(Brigham and Women's Hospital Harvard Medical School, USA)
Junichi Sadoshima	(Rutgers New Jersey Medical School, USA)
Peter J. Schwartz	(Istituto Auxologico Italiano IRCCS, Italy)
Patrick W. Serruys	(Imperial College, London, UK)
Sanjiv J. Shah	(Northwestern University Feinberg School of Medicine, USA)
Deepak Srivastava	(Gladstone Institutes, USA)
Huay Cheem Tan	(National University Heart Centre, Singapore)
Doreen Su-Yin Tan	(Khoo Teck Puat Hospital, National Healthcare Group (Singapore), Singapore)
Wai Hong Wilson Tang	(Heart and Vascular Institute, Cleveland Clinic, USA)
Jean-Luc Vachieri	(Cliniques Universitaires de Bruxelles - Hôpital Erasme, Belgium)
Subodh Verma	(St. Michael's Hospital, University of Toronto, Canada)
John Webb	(University of British Columbia/St. Paul's Hospital, Vancouver, Canada)
Bryan Williams	(University College London, UK)
Stephan Windecker	(Bern University Hospital, Switzerland)
David Wood	(Imperial College London, UK)
Joseph Wu	(Stanford Cardiovascular Institute, USA)
Clyde W. Yancy	(Northwestern University/Northwestern Memorial Hospital, USA)
[APSC2020]	
Wael Almahmeed	(Cleveland Clinic Abu Dhabi, UAE)
Feras M. Bader	(Cleveland Clinic Abu Dhabi, UAE)
Jeroen Bax	(Leiden Universitair Medisch Centrum (LUMC), The Netherlands)
Ngai-yin Chan	(Department of Medicine & Geriatrics, Princess Margaret Hospital, Hong Kong SAR, China)
Jimei Chen	(Guangdong Provincial People's Hospital, PR China)
Derek Peng Beng Chew	(Flinders University, South Australian Health And Medical Research Institute, Australia)
Sok Chour	(President of Cambodian Heart Association, Cambodia)
Wook-Jin Chung	(Gachon University Gil Medical Center, Republic of Korea)
Mungunchimeg Dagva	(APSC, ESC, Mongolia)
Van Phuoc Dang	(Vietnam National Heart Association, Vietnam)
Chaicharn Deerochanawong	(Rajavithi hospital, College of Medicine, Rangsit University, Thailand)
Kritvikrom Durongpisitkul	(Faculty of Medicine Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand)
Lucy Youngmin Eun	(Yonsei University College of Medicine, Severance Hospital, Korea)
Isman Firdaus	(Indonesian Heart Association, Indonesia)
Alan Y. Y. Fong	(Sarawak Heart Centre, Malaysia)
June Huh	(Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Republic of Korea)
Juey-Jen Hwang	(Superintendent, National Taiwan University Hospital Yunlin Branch, Taiwan, ROC)

Sofian Johar	(RIPAS HOSPITAL AND GLENEAGLES JPMC, Brunei Darussalam)
Geetha Kandavello	(National Heart Institute Malaysia, Malaysia)
Kee-Sik Kim	(School of Medicine, Daegu Catholic University, Korea (South))
Byeong-Keuk Kim	(Yonsei University Severance Cardiovascular Hospital, Republic of Korea)
Leonard Kritharides	(Cardiac Society of Australia and New Zealand, Australia)
Ario Soeryo Kuncoro	(Indonesia Heart Foundation; ASEAN ECHO society, University of Indonesia, Indonesia)
Than Than Kyaing	(University of Medicine, Mandalay, Mandalay General Hospital, Myanmar)
Su Ping Carolyn Lam	(National Heart Centre Singapore, Singapore)
Chu-Pak Lau	(Queen Mary Hospital, The University of Hong Kong, Hong Kong)
Pui Wai Alex Lee	(The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong, CN)
Aurelia G. Leus	(Philippine Heart Association, Philippines)
Joshua Loh	(National University Heart Centre, Singapore)
AKM Mohibullah	(BIRDEM General Hospital, Bangladesh)
Koonlawee Nademanee	(Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Los Angeles, USA)
Kazuaki Negishi	(The University of Sydney, Australia)
Jae K. Oh	(Mayo Clinic, USA)
Hean Yee Ong	(President, Singapore Cardiac Society, Singapore)
Sungha Park	(Yonsei university Health system Yonsei university college of medicine department of internal medicine division of cardiology, South Korea)
Arintaya Phrommintikul	(Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand)
David KL Quek	(Pantai Hospital Kuala Lumpur, Malaysia)
Eugenio B. Reyes	(University of the Philippines, Philippine General Hospital, Philippines)
Deewakar Sharma	(President, Cardiac Society of Nepal and Chief Consultant Cardiologist at Hospital for Advanced Medicine and Surgery (HAMS), Nepal)
Kui Hian SIM	(Sarawak Heart Centre, Malaysia)
Kenny YK Sin	(National Heart Centre Singapore, Singapore)
Bambang Budi Siswanto	(Dept Cardiology and Vascular Medicine Universitas Indonesia, Indonesia)
Khalida Soomro	(Ziauddin university hospital karachi, Pakistan)
Wei Chieh Jack Tan	(APSC President, Singapore)
Huay Cheem Tan	(National University Heart Centre, Singapore (NUHCS), Singapore)
Damras Tresukosol	(Bangkok Heart Hospital, Thailand)
Hung Fat Tse	(University of Hong Kong, Hong Kong)
Wan Azman Wan Ahmad	(President, National Heart Association of Malaysia, Malaysia)
Jiguang Wang	(Ruijin Hospital, Shanghai Jiaotong University School of Medicine, Shanghai, China)

Tzung-Dau Wang	(National Taiwan University Hospital, Taiwan)
Chun-Chieh Wang	(Chairman of TSOC Heart Failure Committee, Taiwan)
Mei-Hwan Wu	(National Taiwan University Children's Hospital, Taiwan)
Takumi Yamada	(University of Alabama at Birmingham, USA)
Khung Keong Yeo	(National Heart Centre Singapore, Singapore)

5. プレナリーセッション

- (1) Coronary Revascularization in Chronical Coronary Syndrome 〈英語〉
 座長：木村 剛 (京都大学 循環器内科)
 Patrick W. Serruys (Imperial College, London)
 State-of-the-Art：Stephan Windecker (Bern University Hospital)
- (2) De-Escalation of Antithrombotic Therapy Following PCI 〈英語〉
 座長：森野 禎浩 (岩手医科大学 循環器内科)
 Stephan Windecker (Bern University Hospital)
 State-of-the-Art：Stephan Windecker (Bern University Hospital)
- (3) What Dose Cause ESUS? 〈英語〉
 座長：平山 篤志 (大阪警察病院 心臓センター)
 飯原 弘二 (九州大学 脳神経外科)
 State-of-the-Art：Hans-Christoph Diener (Duisburg-Essen University)
- (4) Treatment Strategy for Acute/Chronic Aortic Dissection: Who will Diagnose? Who will Treat? 〈英語〉
 座長：荻野 均 (東京医科大学 心臓血管外科学)
 加地修一郎 (神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科)
- (5) Treatment for PAD: Appropriate Choice of Bypass Surgery and Endovascular Treatment 〈英語〉
 座長：重松 邦広 (国際医療福祉大学三田病院 血管外科)
 飯田 修 (関西労災病院 循環器科)
 State-of-the-Art：Thomas Zeller (Cardiologist, Angiologist, Bad Krozingen)
- (6) Molecular Mechanism of Heart Failure: UPDATE 〈英語〉
 座長：斎藤 能彦 (奈良県立医科大学 循環器内科)
 北岡 裕章 (高知大学 老年病・循環器内科学)
 State-of-the-Art：佐渡島純一 (Rutgers New Jersey Medical School)
- (7) State-of-the-Art in the Treatment of Advanced Heart Failure 〈英語〉
 座長：絹川弘一郎 (富山大学 第二内科)
 Douglas Horstmanshof (Integris Heart Failure Insititute)
 State-of-the-Art：Douglas Horstmanshof (Integris Heart Failure Insititute)
- (8) Treatment and Advanced Imaging of Cardiac Amyloidosis 〈英語〉
 座長：松本 直也 (日本大学 循環器内科)
 辻田 賢一 (熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学講座)
 State-of-the-Art：Pablo Garcia-Pavia (Hospital Universitario Puerta de Hierro Majadahond)
- (9) Present and Future of Minimally Invasive Surgery 〈英語〉
 座長：小林順二郎 (国立循環器病研究センター 心臓血管外科)
 伊藤 敏明 (名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科)
 State-of-the-Art：Joseph Wu (Stanford Cardiovascular Institute)

- (10) **Surgical Strategy for Non-Atherosclerotic Aortic Diseases** 〈英語〉
座長：大北 裕 (高槻病院 心臓・大血管センター)
湊谷 謙司 (京都大学 心臓血管外科)
- (11) **How to Utilize JSH2019 Hypertension Guidelines in Clinical Practice of Cardiovascular Medicine** 〈英語〉
座長：長谷部直幸 (旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科学)
甲斐 久史 (久留米大学医療センター 循環器内科)
State-of-the-Art: Bryan Williams (University College London)
- (12) **Socio-Medical System for the Management of Patients with Adult Congenital Heart Disease** 〈英語〉
座長：安河内 聡 (長野県立こども病院)
Clare O'Donnell (Green Lane Paediatric and Congenital Cardiology)
State-of-the-Art: Clare O'Donnell (Green Lane Paediatric and Congenital Cardiology)
- (13) **Genetic Risk Prediction of Coronary Artery Diseases** 〈英語〉
座長：尾野 亘 (京都大学 循環器内科)
Pradeep Natarajan (Director of Preventive Cardiology, Massachusetts General Hospital)
State-of-the-Art: Pradeep Natarajan (Director of Preventive Cardiology, Massachusetts General Hospital)
- (14) **Clinical Application of Regenerative Medicine in the Cardiovascular Field** 〈英語〉
座長：福田 恵一 (慶應義塾大学 循環器内科)
Srivastava Deepak (Gladstone Institutes)
State-of-the-Art: Joseph Wu (Stanford Cardiovascular Institute)
- (15) **Epigenome/RNA and Signaling** 〈英語〉
座長：小室 一成 (東京大学 循環器内科)
Stefanie Dimmeler (Goethe University Frankfurt, Institute of Cardiovascular Regeneration)
State-of-the-Art: Stefanie Dimmeler (Goethe University Frankfurt, Institute of Cardiovascular Regeneration)

6. シンポジウム

- (1) **Epigenome/RNA and Signaling** 〈英語〉
座長：堀内 久徳 (東北大学加齢医学研究所 加齢制御研究部門基礎加齢研究)
Peter Libby (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School)
Keynote Lecture: Peter Libby (Brigham and Women's Hospital/Harvard Medical School)
- (2) **Arterial and Aortic Wall Remodeling in Vascular Diseases** 〈英語〉
座長：青木 浩樹 (久留米大学循環器研究所)
眞鍋 一郎 (千葉大学 長寿医学)
Keynote Lecture: Stefanie Dimmeler (Goethe University Frankfurt, Institute of Cardiovascular Regeneration)
- (3) **心房細動カテーテルアブレーションの適応を考える：不整脈専門医と非専門医の視点** 〈日本語〉
座長：清水 渉 (日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)
中川 義久 (滋賀医科大学 内科学講座 循環器内科)

- (4) Precision Medicine Targeting Atrial Fibrillation and Cardiogenic Embolism 〈英語〉
座長：萩原 誠久 (東京女子医科大学 循環器内科)
古川 哲史 (東京医科歯科大学難治疾患研究所 生体情報薬理学)
Keynote Lecture: Shih-An Chen (Taipei Veterans General Hospital, National Yang Ming University)
- (5) The Effective Use of ICD Based on the Evidence from Japan 〈英語〉
座長：栗田 隆志 (近畿大学 循環器内科)
副島 京子 (杏林大学 第二内科)
- (6) 超高齢社会を迎えた心不全診療のあり方 〈日本語〉
座長：木原 康樹 (広島大学 循環器内科学)
筒井 裕之 (九州大学 循環器内科学)
- (7) Pathophysiology and Treatments of Right-Sided Heart Failure 〈英語〉
座長：瀬尾 由広 (名古屋市立大学 心臓・腎高血圧内科学)
坂田 泰史 (大阪大学 循環器内科学)
Keynote Lecture: Saibal Kar (Cedars-Sinai Medical Center)
- (8) 心不全と栄養 〈日本語〉
座長：山本 一博 (鳥取大学 病態情報内科)
安斉 俊久 (北海道大学 循環病態内科学)
- (9) The Impact of FFR-CT on PCI Strategy; Nice Toy or Game Changer? 〈英語〉
座長：赤阪 隆史 (和歌山県立医科大学 循環器内科)
佐久間 肇 (三重大学 放射線科)
Keynote Lecture: Johnathan Leipsic (The University of British Columbia, Vancouver Coastal Health, Providence Healthcare)
- (10) 循環器疾患の AI 画像診断 〈日本語〉
座長：陣崎 雅弘 (慶應義塾大学 放射線科学)
大倉 宏之 (岐阜大学大学院医学系研究科 循環病態学)
- (11) Diagnosis and Treatment for Mitral Regurgitation: Recent Trend 〈英語〉
座長：夜久 均 (京都府立医科大学 心臓血管外科学)
泉 知里 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
Keynote Lecture: Catherine M. Otto (University of Washington School of Medicine)
- (12) 循環器診療における包括的心臓リハビリテーションの役割 〈日本語〉
座長：伊藤 浩 (岡山大学 機能制御学(循環器内科))
牧田 茂 (埼玉医科大学国際医療センター 心臓リハビリテーション科)
- (13) Reoperation and Long-Term Problems in Patients with Adult Congenital Heart Disease 〈英語〉
座長：笠原 真悟 (岡山大学 心臓血管外科)
水野 篤 (聖路加国際病院 循環器内科)
Keynote Lecture: Clare O'Donnell (Green Lane Paediatric and Congenital Cardiology)
- (14) Progress in CTEPH Treatment 〈英語〉
座長：松原 広己 (岡山医療センター 循環器内科)
石田 敬一 (千葉大学大学院医学研究院 総合医科学講座)
Keynote Lecture: 松原 広己 (岡山医療センター 循環器内科)

- (15) 循環器疾患患者の妊娠と出産 〈日本語〉
座長：樗木 晶子（九州大学 保健学部門）
神谷千津子（国立循環器病研究センター 産婦人科）
- (16) New Aspect on the Role of Metabolic Disorders in the Pathophysiology of Cardiovascular Diseases 〈英語〉
座長：室原 豊明（名古屋大学 循環器内科）
桑原宏一郎（信州大学 循環器内科学）
Keynote Lecture：Daren McGire（University of Texas Southwestern Medical Center）
- (17) 循環器系救急疾患の医療連携 〈日本語〉
座長：佐藤 直樹（かわぐち心臓呼吸器病院）
竹内 一郎（横浜市立大学 高度救命救急センター）
- (18) Challenges and Opportunities in Cardio-oncology / Onco-cardiology 〈英語〉
座長：佐瀬 一洋（順天堂大学 臨床薬理学）
赤澤 宏（東京大学 循環器内科学）
Keynote Lecture：Bonnie Ky（University of Pennsylvania）
- (19) 新専門医制度と循環器地域医療の実態 〈日本語〉
座長：宮崎 俊一（大阪府済生会 富田林病院）
三浦 哲嗣（札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学）
Keynote Lecture：加藤 琢真（厚生労働省 医政局 医事課）
- (20) 循環器遠隔医療の展望と問題点 〈日本語〉
座長：渡邊 英一（藤田医科大学 循環器内科）
大石 充（鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学）
- (21) 臨床研究法時代における循環器臨床研究のあり方 〈日本語〉
座長：楠岡 英雄（国立病院機構）
中村 正人（東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科）
- (22) 災害時の循環器疾患対策 〈日本語〉
座長：下川 宏明（東北大学 循環器内科学）
福田 幾夫（弘前大学 胸部心臓血管外科学）
- (23) 医療の質を担保した循環器診療における働き方改革 〈日本語〉
座長：代田 浩之（順天堂大学 循環器内科学）
小宮山伸之（聖路加国際病院 心血管センター 循環器内科）
- (24) 2020年度診療報酬改定の動向と今後の保険診療のあり方 〈日本語〉
座長：池田 隆徳（東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学）
百村 伸一（自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科）
- (25) ICT, ビッグデータを活用した循環器診療の次のステージ 〈日本語〉
座長：大江 和彦（東京大学大学院医学系研究科 医療情報学分野）
宮本 恵宏（国立循環器病研究センター 予防健診部）
- (26) ALL JAPAN での国産医療デバイスの開発 〈日本語〉
座長：齋藤 成達（京都大学 循環器内科）
中村 匡徳（名古屋工業大学 電気・機械工学科）

7. ジョイントシンポジウム

(1) ACC-JCS Joint Symposium

Catheter Ablation for Ventricular Arrhythmias

座長：野上 昭彦（筑波大学 医学医療系 循環器内科）

(2) AHA-JCS Joint Symposium

Clinical Characteristics for HFpEF and Its Possible Molecular Mechanism

座長：斎藤 能彦（奈良県立医科大学 循環器内科）

Robert Harrington（Stanford University, Stanford, California, USA）

(3) CSC-JCS Joint Symposium

Intravascular Imaging for Coronary Intervention

座長：伊莉 裕二（東海大学医学部 内科学系 循環器内科）

Haibo Jia（The Second Affiliated Hospital of Harbin Medical University）

(4) ESC-JCS Joint Symposium

New Findings of Diabetic Cardiomyopathy

座長：室原 豊明（名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学）

Barbara Casadei（The European Society of Cardiology）

(5) KSC-JCS Joint Symposium

New Technology of Echocardiography

座長：泉 知里（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）

Kee-Sik Kim（Daegu Catholic University Medical Center）

8. 教育セッション

教育セッション I

弁膜症診療最新の動向

座長：坂口 元一（近畿大学 心臓血管外科）

新家 俊郎（昭和大学 循環器内科）

教育セッション II

1. 今必要とされる心不全における緩和ケア

座長：筒井 裕之（九州大学 循環器内科学）

大石 醒悟（兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科）

2. 循環器疾患と自動車運転/就労支援

座長：志賀 剛（東京慈恵会医科大学 臨床薬理学講座）

渡邊 英一（藤田医科大学 循環器内科）

教育セッション III

1. 心筋症の画像診断

座長：池田 隆徳（東邦大学 循環器内科学）

香坂 俊（慶應義塾大学 循環器内科）

2. 変わりゆく PCI の適応：心筋虚血評価の重要性

座長：伊莉 裕二（東海大学 循環器内科）

中川 義久（滋賀医科大学 循環器内科）

9. チーム医療セッション シンポジウム

(1) ガイドラインでは語り尽くせない心エコー計測の多様性

座長：岩永 史郎（埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科）

種村 正（公益財団法人心臓血管研究所付属病院 臨床検査室）

- (2) すべての心疾患患者のための Advance Care Planning
座長：大石 醒悟（兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科）
三浦稚郁子（公益社団法人 地域医療振興協会(JADECOM) 事務局 医療事業本部 地域看護介護部）
- (3) 循環器疾患治療薬の相互作用とポリファーマシー
座長：長谷川純一（国立病院機構 米子医療センター）
志賀 剛（東京慈恵会医科大学 臨床薬理学）
- (4) 構造的心疾患(SHD)治療における画像支援
座長：小山 靖史（桜橋渡辺病院 心臓血管センター画像診断科 兼 放射線科）
梁川 範幸（つくば国際大学医療保健学部 診療放射線学科）

10. 会長企画

- (1) Special Lecture
- (2) Change Practice Session
- (3) Debate Session
- (4) Topics
- (5) この症例をどうする？; How to manage this patient?
- (6) 重大合併症はこの時起こる
- (7) Fundamentals and Practice in Clinical Study: Case Studies
- (8) Memorial session for John Ross Jr
- (9) 人生100年時代の健康長寿 Live healthy for 100 years !!
- (10) 最新治療を学ぶ
- (11) JCS 2020 Guideline Deep Dive
- (12) Basic Research Session
- (13) 学生・初期研修医症例報告セッション
- (14) モーニングセミナー
- (15) ファイアサイドセミナー
- (16) 市民公開講座

【APSC2020】

1. Symposium

- (1) Cutting-Edge PCI Technique in Asia
Chair : Damras Tresukosol (Bangkok Heart Hospital, Thailand)
Kenichi Tsujita (Kumamoto University, Japan)
- (2) Registration Research for Arrhythmia from Asia
Chair : Minoru Horie (Shiga University of Medical Science, Japan)
Chu Pak Lau (University of Hong Kong, Hong Kong)
- (3) Heart failure across Asia - Similarities and Disparities
Chair : Carolyn Lam (National Heart Center Singapore, Singapore)
Dong-Ju Choi (Seoul National University, Korea)
- (4) Role of echocardiography before, during, and after intervention for structural heart diseases
Chair : Yutaka Otsuji (University of Occupational and Environmental Health, Japan)
Ewe See Hooi (Sing Health - CVS, Singapore)
- (5) Evolution of echocardiography in the management of heart failure: collaboration with the other specialties
Chair : Sameer Shrivastava (Fortis Escorts Heart Institute, India)
Kazuhiro Yamamoto (Tottori University, Japan)
- (6) Barring issues in ACHD in Asia
Chair : Atsushi Yao (Tokyo University, Japan)
Aurelia Leus (Philippine Heart Center, Philippine)

- (7) Hypertension Guidelines and Future Practice in Asia
Chair : Naoyuki Hasebe (Asahikawa Medical University, Japan)
Jiguang Wang (The Shanghai Institute of Hypertension, China)

2. Panel Discussion

- (1) Imaging & Physiology-Guided Optimal PCI
Chair : Huay Cheem Tan (National University Heart Centre, Singapore (NUHCS))
Takashi Akasaka (Wakayama Medical University)
- (2) Cutting Edge of Catheter Ablation for the Ventricular Tachyarrhythmia
Chair : Akihiko Nogami (Tsukuba University)
Young-Hoon Kim (Korean University)
- (3) Targeting comorbidities in heart failure
Chair : Junbo Ge (Fudan University)
Isman Firdaus (University of Indonesia)
- (4) Women Cardiologist in APSC
Chair : Nannette Ray (De La Salle Health Science Institute)
Keiko Takihara (Health and Counseling Center, Osaka University)
- (5) Manifestations and management of late complications in ACHD
Chair : Geetha Candavelo (National Heart Institute Malaysia)
Shigeru Tateno (Chiba Cardiovascular Center)
- (6) Renal Denervation for the Management of Resistant Hypertension in Asia
Chair : Kazuomi Kario (Jichi Medical University)
Tzung-Dau Wang (National Taiwan University Hospital)

3. Special Session

- (1) Learning from Asian experts : Vulnerable Plaque detection
- (2) Learning from Asian experts : Asymptomatic valvular Disease; How to diagnose and treat ?

4. APSC Education Session

- (1) Learning from Asian experts: How to Use Imaging during PCI
- (2) Learning from Asian experts: How to Use physiology for PCI
- (3) Learning from Asian experts: Interventions for congenital heart disease

5. Joint Session

- (1) APSC-ESC Joint Session 1
- (2) WCC-APSC Joint Session

6. APSC SAB Session

- (1) Registries in the Asia-Pacific: Successes, Challenges and Opportunities
- (2) Cardiometabolic Diseases in Asia

7. Case Competition Session

お問合せ先

第84回日本循環器学会学術集会・APSC2020 運営事務局
Tel : 06-6233-9041 (平日 9 : 30~17 : 30) Fax : 06-6229-2556
E-mail : jcs2020@congre.co.jp
apsc2020@congre.co.jp

事前参加登録のお知らせ

第84回学術集会では、参加登録、教育セッション、ランチョン・コーヒーブレイク・ファイアサイドセミナーの事前参加登録を行います。

第84回学術集会ホームページ「事前参加登録」ページからご登録ください。

<http://www.congre.co.jp/jcs2020/pre-regi01.html>

教育セッション、ランチョン・コーヒーブレイク・ファイアサイドセミナーのみの事前参加登録はできません。

受付期間

参加登録 ▶ 2019年 **10月30日**[水] 正午～ 2020年 **2月13日**[木] 17:00まで

教育セッション ▶ 2019年 **10月30日**[水] 正午～ 2020年 **2月13日**[木] 17:00まで
*参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

**ランチョンセミナー
コーヒーブレイクセミナー
ファイアサイドセミナー** ▶ 2020年 **1月15日**[水] 正午～ 2020年 **2月13日**[木] 17:00まで
*参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

参加登録費

参加区分	参加費(事前)	参加費(当日)	必要な提示物
日本循環器学会正会員	18,000円	22,000円	—
日本循環器学会準会員	6,000円	8,000円	—
非会員	35,000円	40,000円	—
非会員(コメディカル)	7,000円	9,000円	所定の証明書
研修医(前期)	当日登録のみ	無料	所定の証明書
大学院生 (日本人医師を除く)		無料	学生証
学部学生 (医学部・薬学部・工学部等含む)		無料	学生証
在日留学生		6,000円	所定の証明書
海外参加者 (日本からの留学生は除く)	35,000円 (団体10名につき、1名無料)	40,000円	—

※ 参加区分「日本循環器学会正会員」の参加費 18,000 円(当日 22,000 円)、「日本循環器学会準会員」の参加費 6,000 円(当日 8,000 円)に消費税はかかりません。(不課税)

※ プログラム集の事前配布はございません。プログラムの情報は、ホームページをご確認ください。

✦「日本循環器学会準会員」、コメディカルの登録

- ・日本循環器学会準会員、コメディカルの方は所定の証明書の提出が必要です。
登録確認画面、もしくは下記ページよりダウンロードしてください。
<http://www.congre.co.jp/jcs2020/pre-regi01.html>

✦研修医（前期）、留学生の登録

- ・事前参加登録は「日本循環器学会正会員・準会員」、「非会員医師および医療関係者」、のみを対象とさせていただきます。
研修医(前期)、大学院生、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。
- ・研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
- ※証明書の提出がない場合は「非会員医師および医療関係者」当日参加費20,000円をお支払いいただきますので、予めご留意ください。
- ・証明書は下記ページよりダウンロードしてください。
<http://www.congre.co.jp/jcs2020/pre-regi01.html>

✦教育セッション

- ・参加費は3,000円です。教育セッションは、2020年2月13日(木) 17:00までお申し込みが可能です。
- ・お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
- ・教育セッションの内容については**下記ページ**をご参照下さい。
http://www.congre.co.jp/jcs2020/edu_session.html
- ※**専門医研修単位登録について、事前参加登録を行った場合でも、必ず教育セッション会場入口「単位登録受付」での登録が必要です。**会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

✦ランチョンセミナー、コーヒースタイルセミナー、ファイアサイドセミナー

- ・2020年2月13日(木) 17:00までお申し込みが可能です。
- ・事前参加登録をされた方のランチョン・コーヒースタイル・ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

✦専門医研修単位登録

- ・専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
- ※**事前参加登録を行った場合でも、必ず学術集会会場内「単位登録受付」での登録が必要です。**
会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

◆銀行振込の場合の注意事項

- 事前参加登録は入金の確認をもちまして完了となります。
事前参加登録お手続き後1週間以内に指定口座に参加費をお振込みください。
- 入金確認には1週間程度お時間をいただいております。
振込手数料はご参加者様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- 振込人名が参加者様と異なる名称になる場合は、事前参加登録画面「振込人名」欄にご入力いただくか、参加登録事務局へE-mailにてご連絡ください。
- お振込の際は、振込人名にご参加者様の氏名をご記入ください。
- 所属機関名のみでのお振込や複数名の参加費一括お振込の場合は、1. 参加者氏名 2. 振込依頼人名 3. 振込予定日 4. 金額を、参加登録事務局へE-mailにてご連絡ください。
- 銀行振込の場合の参加登録期間は2月7日(金) 17:00まで、最終振込期限は2月13日(木)までとなります。

事前参加登録登録方法と学会当日までの流れ



学術集会HP「事前参加登録」にアクセス

正会員・準会員の方には、学会に登録されているメールアドレスに ID、パスワードを日本循環器学会事務局よりお送りいたしましたのでご確認の上、登録画面内「新規参加登録(会員用)」ボタンからアクセスしてください。
※事前参加登録画面は、2019年10月30日(水)正午にオープンいたしました。



登録画面に必要事項を入力



登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い(クレジットカード)

※銀行振込をご希望の場合 受付期間：2019年10月30日(水)正午～2020年2月7日(金)17:00
本ページ下部の「銀行振込の場合の注意事項」をご参照ください。



ご登録のE-mailアドレスに「事前参加登録完了メール」が到着

〈会員の方〉 当日のネームカード発券には会員認証が必要です。
会員ポータルサイト(<http://www.j-circ.or.jp/portal/>)から会員認証 QR コードをご用意ください。
※2020年1月中旬公開予定
※銀行振込の場合は入金確認後に、ご案内メールを送信します。
〈非会員の方〉 ご案内の登録画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷、もしくは携帯端末用メールアドレスをご入力ください(QR コードが送信されます)。
※銀行振込の場合は入金確認後に、ご案内メールを送信します。

(学術集会当日)

〈会員の方〉 会員認証 QR コードをご用意ください。
〈非会員〉 ご自身でダウンロード・印刷いただいた「登録確認書」をご用意ください。
自動発券機(CMTM)より、ネームカード・領収書・教育セッションチケット(お申し込みの方のみ)・ランチョン・コーヒープレイク・ファイアサイドセミナーチケット(お申し込みの方のみ)が発行されます。

事前参加登録時の注意点

- 事前参加登録完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべて E-mail で行います。
必ず連絡先として使用される E-mail アドレスをご入力ください。
- E-mail アドレスにログイン ID を記載いたします。
個人情報登録完了メールにログイン ID が記載されますので、ご自身で保管してください。
- 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。
- 登録内容の修正・変更は受付期間であれば、事前参加登録画面上にてご自身で修正・変更が可能です。
- 国内参加者の団体登録は受付いたしません。
- 領収書は、学術集会会期中に参加証(ネームカード)と併せて発行いたします。会期終了後は領収書の発行は行いません。

◆事前参加登録に関するお問い合わせ先

第84回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

TEL : 06-6233-9041 (受付時間：平日9:30～17:30)

FAX : 06-6229-2556

E-mail : jcsapsc2020-reg@congre.co.jp

プレナリーセッション，シンポジウム開催要領

1. プレナリーセッション，シンポジウムの開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く).
 - 1) プレナリーセッション
 - 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
 - 発表者は各専門領域における各自のデータに加え，現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
 - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。
 - 総合討論は行わない。
 - 2) シンポジウム
 - 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
 - 各自の最先端の研究について発表し，自由な討論を行う。
 - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする。
2. 応募演題の採否結果は，**8月27日(火)にE-mailでご連絡いたしました。**
3. 演題の取り消しは，会期初日の2カ月前(2020/1/14)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2020/1/15～)については，発表業績として取り扱うとし，取り消しは致しかねます。
4. 日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針に基づき，**筆頭発表者は共同演者も含めて**該当する COI 状態について，発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に，あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

一般演題採否について

1. 演題採否通知

採択された演題は、2019年11月28日(木)に登録番号、採択演題名、筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しますので、各自ご確認ください。また、登録されたE-Mailアドレス宛に発表日程通知を送付いたしますので、ご確認ください。

2. 演題の採否決定

申込演題の採否は会長が委嘱する査読者の採点に基づいて会長が決定します。

3. 国内演者の応募資格

演題応募の時点で、筆頭著書および共著者は本学会会員であり、かつ2019年度会費納入者であることが必要です(※ただし、学部学生、修士、初期研修医、外国人留学生はこの限りではない)。入会をご希望の方は、下記ホームページよりご入会の手続きをお願いいたします。なお、入会は、入会金2,000円および2019年度会費(正会員：15,000円、準会員：8,000円)のお振込みをもって完了します。

会員入会手続きの完了には2週間程度お時間がかかります。演題登録時の早急な会員番号発行はいたしかねますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

(一社)日本循環器学会事務局

URL <http://www.j-circ.or.jp/form/nyukai.htm>

4. 臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は共同演者も含めて、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題に関して「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去3年間におけるCOI状態の有無を発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。なお、演題登録時のCOI申告に修正がある場合は、当日の発表時にお示しください。

5. 演題取り下げについて

演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2020/1/14)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2020/1/15～)については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しはいたしかねます。

第 84 回日本循環器学会学術集会 宿泊のご案内

2020 年 3 月 13 日(金)～15 日(日)の 3 日間、国立京都国際会館、および、グランドプリンスホテル京都にて第 84 回日本循環器学会学術集会が開催されます。全国各地よりご参加の皆様方の宿泊手配を(株)JTB で担当をさせていただくことになりました。つきましては、以下に宿泊受付の概要についてご案内を致します。何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

1. お申込み方法

下記 URL(学術集会ホームページのトップページ[宿泊案内](#))にリンクが貼られています)よりお申込み下さい。

<https://amarys-jtb.jp/jcs-apsc2020/>

お支払い方法については、①クレジットカード(オンライン決済)②コンビニエンスストア③インターネットバンク(ペイジー)④銀行振込
いずれかの選択が可能です。

- ・ご利用可能なクレジットカード会社: VISA / MasterCard® / JCB / AMEX / Dinners Club
- ・コンビニエンスストア支払いを選択された場合、収納代行手数料 420 円(税込)が請求金額に別途加算されます。
- ・インターネットバンク(ペイジー)、銀行振込支払いを選択された場合、振込手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。

いずれの場合も、ご旅行(ご宿泊)代金のお支払いが完了すると、オンライン(マイページ)上に宿泊プラン登録確認書が自動生成されますので印刷をいただき宿泊先までご持参下さい。

2. 宿泊プランについて

- ◆ご宿泊取扱日: 2020年3月11日(水)、12日(木)、13日(金)、14日(土)、15日(日)
- ◆宿泊プランは弊社募集型企画旅行契約にて承ります。申込ステップ中表示される旅行条件書を必ずご確認の上お申込をお願い致します。
- ◆立地(エリア)・料金帯ともに豊富なラインアップを取り揃えて皆様のお申込みをお待ちしております。

3. 受付スケジュールについて

申込受付開始: 2019 年 12 月 3 日(火) 12:00

申込受付締切: 2020 年 2 月 14 日(金) 12:00 ※満員になり次第締め切らせていただきます※

4. 添乗員

この旅行では、添乗員が同行せず、約款に定める旅程管理は行いません。お客様に旅行サービスの提供を受けるために必要な確認書類をお渡し致しますので、お手続きはお客様ご自身で行っていただきます。

5. 最少催行人員

1 名様

6. 変更・取消について

- ◆変更・取消についてはオンライン(マイページ)上でお願い申し上げます。尚、会期直前になるとオンライン上の変更・取消を制限させていただきますので FAX、E-mail にてご連絡下さい(電話ではお受け致しかねます)。
- ◆変更・取消に伴うご返金・追加お支払いについても、オンライン(マイページ)上でお手続きをお願い申し上げます。
- ◆お申込み後の取消は、下記の通り取消料を申し受けます。(取消日=宿泊開始日の前日から起算してさかのぼって)

宿泊プラン	取消日	8 日前まで	7 日前～3 日前	前日の解除	当日の解除(17:30 まで) *右記除く	旅行開始後、 無連絡(不泊)
	取消料	無料	20%	40%	50%	100%

7. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については、連絡の為に利用させていただく他、お申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等が提供するサービスの手配・受領の為の手続き、あるいは当学術集会の円滑な運営の為に必要な範囲内で利用致します。

8. お問い合わせ先

株式会社 JTB 西日本 MICE 事業部
「第 84 回日本循環器学会学術集会」宿泊受付デスク

〒221-0835 大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 MPR 本町ビル 9 階
TEL: 06-6252-5044 FAX: 06-7657-8412 e-mail: jtb-jcs-apsc2020@jtb.com
[営業時間] 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分(土・日・祝日休業)



旅行企画・実施
株式会社 JTB

観光庁長官登録旅行業第 64 号
日本旅行業協会正会員・旅行業公正取引協議会会員
〒140-8602 東京都品川区東品川 2-3-11

* 総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

関連会合開催申し込みについてのご案内

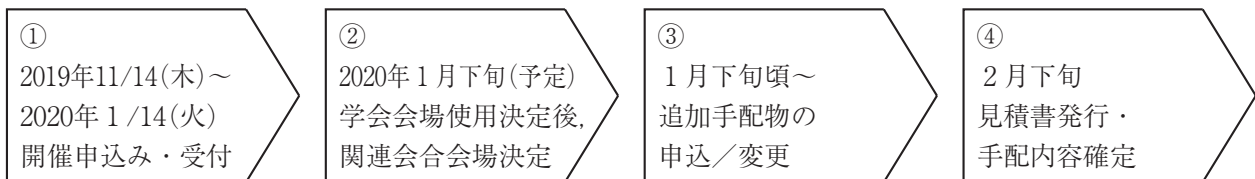
第84回日本循環器学会学術集会の会期中に、国立京都国際会館/グランドプリンスホテル京都にて開催される各種関連会合のお申し込みを受付しております。

詳細はホームページに記載いたしますので、ご確認ください。

なお、正式プログラムの実施時間帯においては、関連会合は開催しないことを基本方針としております。
ご理解とご協力をお願いいたします。

申込開始日：2019年11月14日(木)正午より

申込締切日：2020年1月14日(火)正午まで



※詳しくは第84回日本循環器学会学術集会ホームページ

<http://www.congre.co.jp/jcs2020/>

の「関連会合」のページをご参照ください。

※会場に関しては先着順でのご案内とさせていただきます。

※今回は関連会合に利用できる室数が極めて限られておりますのでご用意できない場合もございます。

※特に3月14日(土)のお昼の時間帯は、学会場内で開催いただくことが極めて困難ですので、できるだけ避けていただきますようお願いいたします。

※学会場以外の施設を直接ご手配いただく場合は、運営事務局にお知らせいただく必要はございません。

※キャンセル料については以下の通りです。

会場費：2020年2月6日(木)以降 キャンセル料100%

手配物：2020年3月5日(木)以降 キャンセル料100%

BCVR

The 4th JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research

第4回 日本循環器学会基礎研究フォーラム

Science-based Medicine

～今、基礎医学が面白い～



会期 2020 9/ 26 土・27 日

会場 名古屋コンベンションホール

〒453-6102 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート
TEL:052-433-1011 FAX:052-433-1489

会長 室原 豊明 (名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科 教授)

〈運営事務局〉

株式会社コンベンションリンケージ内

〒453-6102 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート

TEL:052-433-1011 FAX:052-433-1489

E-mail: bcvr2020@c-linkage.co.jp

<http://www.c-linkage.co.jp/bcvr2020/>



2020年度日本循環器学会基礎研究助成募集要項

●趣 旨

日本循環器学会では、2016年12月16日に脳卒中と循環器病克服5カ年計画を策定した。5戦略として「臨床・基礎研究の強化」「人材育成」を制定し、その一環として、今後期待される若手の基礎研究へ助成をする。

●対 象

- 1) 国内の基礎研究に貢献が期待される研究者であること。
- 2) 循環器の基礎研究の分野で、新規性と独創性が高く、さらに大きな研究成果が期待できる研究であること。

●応募資格

- 1) 申請時において、日本循環器学会会員(正会員または準会員)であること。
- 2) 2020年4月1日時点で満40歳未満の者。
- 3) 過去に本助成から助成を受けていないこと。
- 4) 国内外問わず他学会及び財団から同様の目的で助成金を受けている場合は対象外とする。
- 5) 1施設(教室)からの複数応募は本助成に限り妨げない。

●選考方法

学術委員会で選出された選考委員の書類選考による。受賞者は最大5名とする。

●応募方法と提出書類

- 1)～3)については、フォーマット1へ記載ください。4)についてはフォーマット2へ記載ください。
- 1) 履歴書
- 2) ①研究の背景・目的 ②研究計画・方法 ③期待される成果・意義 ④研究期間 ⑤これまでに受けた研究費を記載した申請書
- 3) 研究業績(論文20編以内、うち関連の深い論文に*を記載ください。)
記載方法：Name, Title, Journal, Volume, Page, Yearの順に記載。
- 4) 研究指導責任者証明書

●書類受付期間

2020年4月13日(月)～5月11日(月) ※15:00必着(E-mail可)

●選考発表

第4回日本循環器学会基礎研究フォーラムにおいて、研究概要の発表を頂く。

※2年後の日本循環器学会基礎研究フォーラム(第6回基礎研究フォーラム)で成果発表を行う。

●助 成：奨励金(200万円)×最大5名

使途明細表を提出頂く。(採択後にデータにてお送りいたします。)

●論文投稿の際における謝辞について

論文投稿の際は、下記の通り Acknowledgment(謝辞)をご記載頂きますようお願いいたします。

謝辞：Acknowledgment(謝辞)

【英文】：This work was supported by the Grant for Basic Research of the Japanese Circulation Society (2020)

【和文】：本研究は2020年度日本循環器学会基礎研究助成を受けたものです。

●本助成は学術委員会が行っている事業です。

●問い合わせ先

一社)日本循環器学会(JCS)事務局 BCVR 基礎研究部会担当

〒100-0011 東京都千代田区幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18階

TEL: 03-5501-0864 FAX: 03-5501-9855

E-mail: jcs-bcvr@j-circ.or.jp

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2020年度認定循環器専門医研修・研修関連施設の指定審査について

2020年度認定の循環器専門医研修・研修関連施設の申請受付けを開始しております。
従来とは異なる箇所もありますので、下記をよく読み申請してください。

はじめに

昨年の2019年度認定より、現在研修中の先生への影響を最小限に抑えるため、新旧両方の制度での施設認定を並行して行っております。2020年度認定では、「新・旧制度それぞれ両方に申請(指定・更新)する」、「新制度のみ申請する」、「旧制度のみ申請(指定・更新)する」の3種類の申請を受付けます。

数年後は新制度へ移行することを検討しておりますが、日本専門医機構からの指導等により変更となる可能性もあります。

ご自身の施設が3種類の申請のうち、どの申請をしたら良いかは本会 HP に掲載の「施設状況一覧」をご確認ください。また、申請にあたっては HP に「申請マニュアル」を用意しておりますのでご参照ください。

《要 項》

1. 日 程

申請期間：2019年10月1日(火)～11月29日(金)

2. 認定期間

新制度：2020年4月1日～2025年3月31日(5年間)

※認定の2～4年目に「年次報告」を提出頂き状況を確認します。

旧制度：2020年4月1日～2022年3月31日(2年間)

3. 申請資格

指定を希望する施設は、次の全てを充足することが必要です(旧制度は専門医制度規則第13条、新制度は循環器領域の専門医研修整備基準に準拠)。必要に応じて現地調査を行います。

◆新制度

A. 研修施設

- 1) カリキュラムを達成できるのに十分な症例を経験できること。
- 2) 循環器専門医2名以上(1名は指導医)が常勤し、指導体制が充分であること。
- 3) 研修カリキュラムを施行・修了可能な指導体制・設備が整っていること。
- 4) 指導方法、臨床研修指導医ワークショップの機会を提供できること。
- 5) メンタルヘルスに関する相談窓口を設置すること。
- 6) 専門医研修管理委員会を設置すること。
- 7) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。

B. 研修関連施設

- 1) 循環器専門医1名以上が常勤すること。
- 2) 日本循環器学会が認定した研修施設と関係を有すること。
- 3) 指定研修施設と相談のうえ、研修カリキュラムの一部を受けもつこと。
- 4) 研修施設と関係したメンタルヘルスに関する相談窓口を設置すること。
- 5) 連絡する研修施設が管理する専門医研修管理委員会に属すること。
- 6) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。

◆旧制度

A. 研修施設

- 1) 循環器系病床として常時30床以上を有すること。 ※ 1
- 2) 循環器専門医 2 名以上が常勤し、指導体制が充分であること。
- 3) 研修カリキュラムに基づく研修が可能な指導体制・設備が整っていること。 ※ 2
- 4) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。

B. 研修関連施設

- 1) 日本循環器学会が指定した研修施設と関係をもつこと。
- 2) 循環器系病床として常時15床以上を有すること。 ※1
- 3) 循環器専門医 1 名以上が常勤すること。
- 4) 指定研修施設と相談のうえ、研修カリキュラムの一部を受けもつこと。また、自施設でも基本的な研修が可能な設備が整っていること。 ※2
- 5) 循環器診療の実態調査(JROAD)に協力すること。
 - ※ 1 循環器科，心臓血管外科，小児循環器科，CCU を含みます。ただし透析病床は含みません。
 - ※ 2 設備状況の達成目標 A 項目が全て必要です。また，達成目標 B 項目についても審査・評価をいたします。なお，専門医を目指す医師の研修のためには，研修カリキュラム達成度評価表の内容を満たすことが必要です。

4. 情報公開

研修施設・研修関連施設につきましては，以下の情報が本会 HP にて公開されますので，ご了承ください。

- ・施設指定区分(新・旧/研修・関連)，施設番号，施設名称，所在地，電話番号，FAX 番号
- ・施設長氏名，循環器専門医代表者氏名

5. その他

施設申請に関する全ての連絡(問い合わせ・施設証送付など)は E-mail・郵便などで循環器専門医代表者宛にお送りしますので，ご注意ください。



J-OSLER

2019年4月以降に
循環器専門医研修を開始した専攻医の先生へ

循環器J-OSLER ユーザー登録受付開始!

日本専門医機構の新専門医制度においては、当初2019年4月よりサブスペシャルティ領域(循環器含む)研修が開始予定でしたが、報道されていますように現状では認定されておりません。しかしながら、本会は2019年4月から循環器研修を始めている専攻医へ不利益のないよう対応致します。循環器J-OSLER(症例登録システム)がこの度完成しましたので、ユーザー登録をお済ませください。

ユーザー登録期間

2019年10月1日(火)～2020年2月29日(土)

登録期間に登録した場合、2019年4月に遡って研修を始めたとみなします。

登録期間以降に登録した場合、循環器専門医資格の取得が遅くなります。

登録方法

本会会員ポータルサイトから登録してください。
詳細はHPをご確認ください。費用はかかりません。

ご登録はこちらから▶



一般社団法人日本循環器学会

2020年度日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

- 次の5項を充足していること。
 - 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること。
 - 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医／総合内科専門医／外科学会認定登録医／外科専門医／小児科専門医、いずれかの資格を取得していること。
 - 3) 本学会正会員であり、通算して3年以上の正会員歴を有すること(※1)。
 - 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2)。6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設または研修関連施設で研修していること(※3)。
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得年度の4月から、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設または研修関連施設で研修していること(※3、※4)。
 - 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること。また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める。
 - 審査料(※5)および年会費を2020年6月末までに完納していること。
 - 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること。
 - 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること。
- ※1 2020年4月1日現在3年目で可。2019年度以降の入会者は受験できません。
- ※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む。
- ※3 研修関連施設での研修も研修施設と同等の扱いにします。(従来は研修関連施設での研修は1/2換算としていました)
- ※4 循環器研修を基本領域資格取得年の4月から開始可能とします。(従来は基本領域資格取得後、筆記試験前日までに満3年の研修が必要でした)
- ※5 5月上旬に振込を依頼しますのでお手続きください。
振込は会員ポータルサイトにログインいただき、クレジットカード、コンビニ、ペイジーの方法のいずれかにてご対応ください。

III. 申請方法

以下の書類を事務局まで郵送してください。①は会員ポータルサイトに作成し、印刷して提出してください。②～④はWEB上よりダウンロードして、必要事項を入力の上、PDFに変換し、アップロード及び印刷して郵送してください。⑤⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記載し、押印の上、郵送してください。⑦～⑧はコピーを提出してください。

書類作成にあたり、当会HPの「診療実績表評価基準」「よくあるご質問」「申請書作成の手引き」等を必ず確認してください。

※症例や引用論文は原則として10年以内のものとします。

※手術症例は開胸・開腹を伴うものとします。

※提出書類で個人が特定できる情報(氏名、ID、住所、生年月日の日にち)には必ずマスキングをしてください。マスキングされていない(視認できる)場合には、それだけで不合格になることがあります。

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見、(D)外科手術記録、(E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

IV. 筆記試験不合格者への措置について

2019年度試験より、2018年度以降の書類審査に合格し筆記試験で不合格となった受験申請者は、翌年度以降2年間は書類審査を免除する特別措置を適用いたしました。

V. 優遇措置内容

1. 対 象

2018年度、2019年度の筆記試験不合格者

2. 有効期間

筆記試験不合格となった翌年度以降の2年間

3. 受験資格

通常の受験資格(上記Ⅱ. 受験資格)と同様です。

4. 申請書類

「診療実績表(A)～(E)」と「研修(研修関連)施設在籍証明書」の提出が免除されます。以下の書類を申請書類提出期間中(下記Ⅵ. 日程)に事務局まで郵送してください。

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ③ 基本領域の資格証書のコピー
- ④ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

Ⅵ. 日 程

日 程	内 容
1月30日～3月31日 16:00まで	受験申請・申請書類作成期間(※1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4月1日～4月9日 消印有効	申請書類提出期間(※2)
5月上旬	審査料払込用紙送付(※3)
5月～7月中旬	申請書類審査期間
7月下旬	書類審査結果通知(※4)
8月16日(日)	筆記試験施行(※5) 横浜, 大阪
10月下旬	可否通知

- ※1 受験者が会員ポータルサイトを介して受験申請・申請書類を作成する期間。
データはこちらで保管しておりませんので、必要に応じてご自身で記録をお取りください。
- ※2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間。
この期間以後に到着した書類は一切受け付けいたしません。
なお、提出された書類の確認は申請書類提出期間以降に行います。
提出された書類は返却いたしませんので、必ず控えをとってお送りください。
(書類審査不合格の場合は、「研修カリキュラム達成度評価表」のみ返却いたします。)
- ※3 事務局から審査料の振込依頼をします。審査料は20,000円です。
1度支払われた審査料は、いかなる理由であっても返金しません。
- ※4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
- ※5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

Ⅶ. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内いたします。
- 認定料は30,000円です。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

循環器専門医認定更新のご案内

◆◆◆ 認定更新の条件およびお手続き (Step①～⑥) ◆◆◆

自動的に更新されませんので、各期限までに必ずご対応ください。

専門医更新申請の手引き(本会HP内)：

トップページ → 専門医(循環器専門医制度) → ◆専門医認定更新 → 認定更新申請

Step① 「専門医資格申請情報」の作成

期限：2019年11月22日

(手引き P139-142)

会員ポータルサイトにアクセスし、「専門医資格申請情報」から更新手続きを行ってください。会員ポータルサイトのログインパスワードはご自身で発行頂いたものです。

お忘れの場合は、ログイン画面の **パスワードをお忘れですか?** をクリックしてください。

Step② 年会費(15,000円/年)のお支払い

期限：2020年3月15日入金まで

会員ポータルサイトの「請求収納情報」をご確認ください。

今年度までの会費が未納の場合は、未納分の年会費をお振込みください。

Step③ 単位の取得

期限：2020年3月31日

(手引き P111-122※自己申告についてのみ)

Step①が終了した先生は更新に必要な単位を取得ください。現在の取得単位は会員ポータルサイトでご確認いただけます。

Step④ 「専門医資格申請情報」の申請

⑤以降へ進むために、①～③が済み次第早めにご対応ください。

(手引き P142-143)

会員ポータルサイトにアクセスし、①で保存した「専門医資格申請情報」の申請作業をしてください。

Step⑤ 更新料(30,000円)のお支払い

(手引き P146-150)

Step①～④が済んだ先生は、会員ポータルサイトの「請求収納情報」をご確認の上、更新料をお振込ください。(クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジー)

Step⑥ 更新手続きの完了

更新料をお振り込みいただきましたら更新手続きは完了です。

- 更新後の認定期間は2020年4月1日～2025年3月31日です。
- 証書発送は、上記の更新条件を充足した方から3月中旬以降順次発送致します。

会員ポータルサイトからのお手続きが難しい場合のみ

こちらの申請書でお手続きください。（インターネット環境がない等）

※更新の場合は基本領域資格証書(コピー)も併せてお送りください。

FAX: 03-5501-9855

一般社団法人 日本循環器学会
専門医制度委員会 殿

日本循環器学会認定循環器専門医資格 認定更新申請書

☐ 更新申請します。

喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自らが禁煙し且つ禁煙の啓発に努めます。
認定期間内に認定更新に必要な下記条件を充足し、認定更新を希望します。

- ① 「更新」の意思表示
- ② 基本領域資格を取得していること
- ③ 更新に必要な単位の取得
- ④ 更新年度までの年会費の納入
- ⑤ 認定更新料の納入

☐ 辞退申請します。

年 月 日

氏名 : 会員番号 :

ご住所 : 〒

TEL :

【お問合せ先】

TEL: 03-5501-0864

MAIL: senmoni@j-circ.or.jp

一般社団法人 日本循環器学会 事務局

循環器専門医認定更新
所 定 単 位 表

一般社団法人 日本循環器学会

以下の方法にて5年間に**必修研修単位を含む50単位**を取得することにより、循環器専門医の認定更新を行う。

★印については必修研修とし、認定期間内に30単位を必ず取得のこと。★内での組み合わせは自由。

☆印については必修研修とし、認定期間内に最低1回(2単位)は受講すること。

登録方法	対象者	必修	単位加算対象	単位数
専門医カード 単位登録票	参加者	★	日本循環器学会 学術集会※1	10
		★	〃 教育セッション	5
		☆	〃 医療安全・倫理に関する講演会※2	2
		★	日本循環器学会 地方会	5
		★	〃 地方会教育セッション	3
			〃 基礎研究フォーラム(BCVR)	3
事務局登録	筆頭著者		「Circ J」掲載論文(CL・EX・RC・ICMのみ)	10
			「Circ R」掲載論文(CL・EX・RC・ICM・BR・PPのみ)	10
	参画者		本会が推奨する臨床研究プロジェクト※3	2～4
			本会が実施するプログラム	◎
	自己研修		本会が実施する教育プログラム CD-ROM/DVD/ビデオ※4	3
			本会が実施する教育研修eラーニング※5	1
自己申告	参加者		循環器関連学会 年次学術集会 【別表Ⅰ】	3
			関連学会 年次学術集会 【別表Ⅱ】	1
			日本医学会総会	5
			WCC・AHA・ACC・APSC・ESC	2
			その他の海外循環器関連学会集会 【別表Ⅲ】	1
	筆頭著者		本会指定の循環器関連学会学術誌 掲載論文(英文) 【別表Ⅳ】	5
			〃 (和文) 【別表Ⅳ】	3
			本会指定以外の循環器関連学術誌 掲載論文(英文) 【別表Ⅴ】	3
			〃 (和文) 【別表Ⅴ】	1
	留学		留学(連続して10ヶ月以上の場合のみ)	1×月数

《 単位登録方法について 》

専門医カード:学会当日会場において専門医カードを持参・提示することにより単位を取得する。

単位登録票:学会当日会場において、単位登録票に記入し提出することにより単位を取得する。

事務局登録:上記該当者は自動的に単位が加算される。

自己申告:単位不足の場合、自己申告期間(認定5年目)に所定の自己申告書にて不足単位を申告する。

但し、留学・研究プロジェクトについては『認定更新に関する規程』参照。

※1 第84回学術集会はAPSCとの合同開催となるため、15単位を認める。

※2 医療安全・医療倫理に関する研修については、ホームページ上での視聴研修あるいは地方会でのDVDセッションでも可。ただし、同じ講演内容については、重複して単位は加算されない。

※3 詳細については「大規模臨床試験プロジェクト」単位付与規程に基づき専門医制度委員会で決定する。

※4 発売から約2年間のみが単位付与対象となる。各視聴教材に同封の単位申請ハガキに記載されている単位申請有効期限を確認すること。

※5 視聴と設問正解を以て単位付与とする。

ただし、認定期間5年間で最大15単位。同じ内容については、重複して単位は加算されない。

◎印の単位数は委員会判断とする。

学術集会・地方会での専門医研修単位登録について

- 学術集会・地方会での更新に必要な研修単位の取得方法は「専門医カード」によるものです。
- 学術集会・地方会当日，会場の各専門医研修単位登録受付にて先生ご自身でのご登録のお手続きが必要です。
- 会期中に登録を忘れた場合，会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付いたしません。

専門医認定更新の手続きについて

更新案内

認定4年目 8月下旬 「単位取得状況通知書」のお届け

認定5年目 10月下旬 「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

更新条件

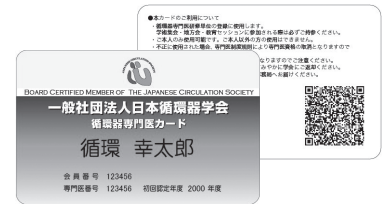
- 1 「更新」の意思表示をしていること
- 2 基本領域の資格を取得していること
- 3 更新に必要な単位を取得していること
(更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください。)
- 4 更新年度までの年会費を納入していること
- 5 認定更新料を納入していること

「循環器専門医カード」再発行のご案内

(専門医の先生へ)

日本循環器学会主催学術集会、地方会には、専門医カードをお持ちください。
専門医カードをお持ち頂くと研修単位登録受付での登録がスムーズです。

紛失等された場合は、下記「循環器専門医カード再発行申請書」をFAX、
郵便、E-mailで、日本循環器学会事務局へご提出ください。



カード再発行の流れ

1. 下記「再発行申請書」に必要事項を記入後、FAX、郵便、E-mail等で事務局へご提出ください。
2. 再発行料(3,000(税抜)円)の請求書をお届けします。郵便局からお振込ください。
改姓の場合は無料です。申請書内「事務局への連絡事項欄」に改姓のため等理由をご記載ください。
3. 再発行料のご入金を確認後、専門医カードをお届けいたします。

発行時期 ※申請書の提出日によって、専門医カードの発行時期が異なります。

申請書提出メ切	専門医カード発行時期
12月末	2月下旬
3月末	5月上旬
7月末	9月上旬

ご提出・お問い合わせ：一般社団法人 日本循環器学会 事務局 専門医担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0864 FAX: 03-5501-9855 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

FAX: 03-5501-9855
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

(一社)日本循環器学会専門医制度委員会 循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会
代表理事 殿

標記のカードを紛失いたしましたので、下記のとおり再発行を申請いたします。

なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出をいたします。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：	会員番号(6桁)：
生年月日：(西暦) 19 年 月 日	
事務局への連絡事項：	

※手続きには再発行料(¥3,000(税抜))が必要です。申請書到着後、請求書を送付いたします。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます。

※万一、請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することといたします。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは、刊行物と同じ送本先へ送付いたします。

事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

地方会・関連学会・研究会情報

【お願い】 各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

日本循環器学会地方会情報

第122回北海道地方会

会 期：2019年11月23日(土)
会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会 長：紙谷寛之
(旭川医科大学 心臓大血管外科学分野)

第169回東北地方会

会 期：2019年12月7日(土)
会 場：仙台国際センター(仙台市)
会 長：下川宏明(東北大学 循環器内科学分野)

第254回関東甲信越地方会

会 期：2019年12月7日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：鈴木 洋(昭和大学藤が丘病院)

第255回関東甲信越地方会

会 期：2020年2月22日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：藤田英雄(自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科)

第256回関東甲信越地方会

会 期：2020年6月6日(土)
会 場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会 長：小野 稔(東京大学心臓外科)

第128回近畿地方会

会 期：2019年11月30日(土)
会 場：大阪国際会議場(大阪市)
会 長：是恒之宏(国立病院機構大阪医療センター)

第115回中国地方会

会 期：2019年11月30日(土)
会 場：JMS アステールプラザ(広島市)
会 長：榎野 新
(労働者健康安全機構 中国労災病院)

第115回四国地方会

会 期：2019年12月7日(土)
会 場：高知市文化プラザかるぼーと(高知市)
会 長：川井和哉(社会医療法人近森会近森病院)

第116回中国・四国合同地方会

会 期：2020年6月26日(金)・27日(土)
会 場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会 長：荻野和秀(鳥取赤十字病院)

第127回九州地方会

会 期：2019年12月7日(土)
会 場：久留米シティプラザ(久留米市)
会 長：福本義弘(久留米大 心臓・血管内科部門)

海外学会情報

ACC2020 Together with World Congress of Cardiology

会 期：2020年3月28日(土)～30日(月)

開催地：シカゴ(イリノイ)

U R L : https://accscientificsession.acc.org/?_ga=2.195336559.2136656980.1564656323-1070790182.1425881673

その他の学会開催情報

千里ライフサイエンスセミナー N4

「感覚のサイエンス～豊かな社会の実現に向けて～」

日 程：2019年11月26日(火)10:30～16:20

会 場：千里ライフサイエンスセンタービル 5F

山村雄一記念ライフホール

(大阪メトロ御堂筋線・北大阪急行 千里中央
駅 北口すぐ)

参加費：無料

定 員：200名(定員になり次第、締め切り)

趣 旨：外界や生体内部の必要な情報を効率よく集めるために進化してきたのが感覚器であり、人は視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚のいわゆる五感とともに、痛覚、痒覚、平衡感覚、内臓感覚や温度感覚などの感覚を有する。それらの感覚を使うことで、敵、食料、異性などの存在を認識できるだけでなく、他者とのコミュニケーションを図ることができ、感覚機能は生存のみならず社会生活を送るためにも重要である。また、老化や病気による感覚機能の低下は認知症や車の運転能力の低下などにつながる大きなリスクファクターであり、超高齢化社会の我が国において、感覚器の機能維持は喫緊の社会的課題である。今まで各感覚器研究は個別に行われることが多かったが、今回、我が国で活発に感覚器研究を行っている研究者が会し、各感覚器研究の最新知見を講演し、感覚刺激の受容・伝達・処理・認知のメカニズムや感覚器研究の社会実装に向けた今後の可能性や課題について討議する。

申込方法：氏名・勤務先・所属・役職名・郵便番号・所在地・電話を明記のうえ、E-mailでお申し込みください。(FAX 申し込み可)

事務局より「参加証」をお送りいたします。

申込先：セミナー N4 事務局

Tel. 06-6873-2001 Fax. 06-6873-2002

E-mail: dsp-2019@senri-life.or.jp

主 催：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

詳細：http://www.senri-life.or.jp/seminar/seminar-1-20191126a.html

地域におけるかかりつけ医等を中心とした心不全の診療提供体制構築のための研究(研究代表者：磯部光章先生)制作の市民・患者向け「心不全教育動画」について

日本循環器学会は、厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「地域におけるかかりつけ医等を中心とした心不全の診療提供体制構築のための研究」(研究代表者：磯部光章先生)に関連学会として協力しています。下記 HP から

研究班で制作した市民・患者向け「心不全教育動画」の無料ダウンロードが可能ですので、施設(外来・病棟・待合室)や市民啓発活動など様々な用途でご利用ください。

研究班ホームページ：<https://plaza.umin.ac.jp/isobegroup/>
QRコード：



第28回教育セミナー開催のご案内(日本緩和医療学会)

日 時：2020年1月11日(土)10:00～17:00(9:00
受付開始)

会 場：福岡国際会議場 メインホール 邦楽ホール
分科会会場 413+414中会議室(〒812-0032
福岡市博多区石城町2-1)

費 用：【会員】

分科会参加なし

8,000円(参加費7,000円、昼食費1,000円)

分科会参加あり

9,000円(参加費8,000円、昼食費1,000円)

【非会員】 分科会参加なし

10,000円(参加費9,000円、昼食費1,000円)

※ご入金後にキャンセルされた場合、ご返金いたしかねますのでご了承ください。

※非会員の方は分科会にご参加いただけません。

応募資格：日本緩和医療学会学会員および非会員

募集人数：600名(分科会ごとの定員100名)

申込方法：申込フォーム(下記 URL 参照)

<https://www.jspm.ne.jp/seminar/form.php>

資 料：当日セミナー資料をご用意いたします。分科会参加者には、分科会開始時に別途資料をお渡しします。

分科会：

- ・分科会は2セッションございますが、ご参加いただけるのは最大1セッションまでです。
- ・分科会の定員は1セッションごとに100名です。
- ・原則、お申込み受付以降のセッション変更は出来ませんのでご注意ください。
- ・非会員の方は分科会にご参加いただけません。

備 考：

※参加者にはセミナー修了証を交付させていただくため、当日の参加受付は行いません。必ず事前申し込みを行ってください。なお、修了証は分科会参加の有無に関わらず、同じものを発行します。

※以上の内容に変更等が発生した場合、さらに詳しい内容が決定した場合には、ホームページにてご

案内させていただきます。定期的にホームページの更新内容をご覧ください。

プログラムの詳細：

<http://www.jspm.ne.jp/seminar/200111seminar.html>

千里ライフサイエンス国際シンポジウム N6

「2020 Senri Life Science International Symposium on "Recent Advance in Cancer Genomics"」

日 時：2020年1月24日(金)10:30~16:30

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル5階 山村雄一記念ライフホール

(大阪府豊中市新千里東町1-4-2, 大阪メトロ御堂筋線/北大阪急行, 千里中央駅下車)

コーディネーター：

間野博行(国立がん研究センター 研究所長)

小川誠司(京都大学大学院医学研究科 教授)

主 催：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

使用言語：英語

定 員：200名

参加費：無料

申込要領：氏名、勤務先、所属、〒所在地、電話番号、Eメールアドレスを明記の上、Eメールで下記宛お申し込みください。件名は「千里ライフサイエンス国際シンポジウムN6」としてください。

締 切：定員になり次第締め切らせて頂きます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
国際シンポジウム N6 係 湯通堂 隆様 宛て
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル20階
Tel. 06-6873-2001

E-mail: sng-2019@senri-life.or.jp

U R L : <http://www.senri-life.or.jp/>

千里ライフサイエンスセミナーN5

「線維症をもたらす炎症細胞社会」

日 時：2020年2月14日(金)10:30~17:00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル5階 山村雄一記念ライフホール

コーディネーター：

松島綱治(東京理科大学研究推進機構 生命医科学研究所 教授)

小川佳宏(九州大学大学院 医学研究院 教授)

開催趣旨：炎症の終末像として様々な臓器共通に線維芽細胞の集積・活性化によるコラーゲンならびに細胞外マトリックスが過剰に蓄積し、その結果、臓器の構造が乱れ、機能障害をもたらされます。これが疾患としての線維症 fibrosis です。代表的な線維症には、肺線維症、肝硬変、腎線維症などがありますが、線維症は全ての臓器において認められます。不幸にも現在、線維化疾患に対する有効な治療方法はなく、アンメット・メディカル・ニーズの高い領域です。一方、全ての上皮がんは線維化を足場・ニッチにして発生するため、がんの予防のためにも線維化制御法の開発は重要かつ喫緊の課題です。本セミナーでは、本研究領域を代表する基礎・臨床研究者を招聘し、シングルセル遺伝子発現解析などの新技術を用いた「炎症細胞社会」の実態解明による線維症の分子・細胞基盤の理解とこれに立脚した線維化疾患の発症機構・治療戦略に関する最新の知見を御紹介いただきます。

参加費：無料

定 員：200名(定員になり次第締め切り)

申込方法：

1) 氏名、勤務先、〒所在地、所属、電話番号を明記の上、E-mail でお申し込みください。

2) 事務局より送付する参加証(E-mail)をセミナー開催当日に受付でご提出ください。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
セミナー N5 担当 谷山 佳央様
Tel. 06-6873-2001 Fax. 06-6873-2002
E-mail: tkd-2019@senri-life.or.jp

セミナーの詳細や変更等につきましては、下記の財団ウェブサイトにて随時ご案内しておりますのでご覧ください。

U R L : <http://www.senri-life.or.jp/>

研究助成

第30回(2019年度)研究助成等募集のお知らせ

(公財)福田記念医療技術振興財団では、ME を利用した医療技術に関する研究助成を行っております。2019年4月1日より、次のとおり募集を行います。

公募事業：

①研究助成

(1)個人研究 1件100万円を限度に、6件

(2)共同研究 1件200万円を限度に、5件

②国際交流助成

(1)研究留学 1件100万円を限度に、4件

(2)国際会議出席

1件 30万円を限度に、4件

(3)海外からの研究者招聘

1件100万円を限度に、4件

③論文表彰(副賞50万円) 2件

応募締切日(当日消印有効)

①については、2019年4月25日

※終了いたしました。

②については、

前期分2019年4月25日(出発が2019年7月1日から2020年2月29日まで) ※終了いたしました。

後期分2019年12月31日(出発が2020年3月1日から2020年6月30日まで) ※受付中

③については、2019年12月31日 ※受付中

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付してください。

問合せ先：〒113-8570 東京都文京区湯島2丁目31番20号 フクダ電子(株)春木町ビル内 公益財団法人 福田記念医療技術振興財団事務局

Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268

URL：http://www.fukudakinen.or.jp/

日本心臓財団・バイエル薬品 第33回海外留学助成募集要項

助成対象：心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

助成額：1件300万円とし原則として10件

応募資格：次の事項のすべてに適合する者

- 1) 初めての海外留学であること
- 2) 40歳未満(1980年4月1日以降生まれ)で日本在住であること
- 3) 1年以上留学し、帰国後日本の学術振興に寄与すること
- 4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること
- 5) 一定の研究業績を有すること
- 6) 2020年4月1日～2021年3月31日の間に出発の予定であること

なお、選考決定後、留学前に留学先を変更した場合や期間内に出発の予定が決まらない場合は取消しとなる可能性有り。

応募方法：下記ホームページをご覧ください。

応募期間：2019年10月1日(火)～11月30日(土)

消印有効

問合せおよび申請書提出先：

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階

公益財団法人 日本心臓財団

Tel. 03-5324-0810 Fax. 03-5324-0822

E-mail: shinsei@jhf.or.jp

URL：http://www.jhf.or.jp/

日本心臓財団・バイエル薬品 第33回海外留学助成募集要項

助成対象：心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

助成額：1件300万円とし原則として10件

応募資格：次の事項のすべてに適合する者

- 1) 初めての海外留学であること
- 2) 40歳未満(1980年4月1日以降生まれ)で日本在

住であること

3) 1年以上留学し、帰国後日本の学術振興に寄与すること

4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること

5) 一定の研究業績を有すること

6) 2020年4月1日～2021年3月31日の間に出発の予定であること

なお、選考決定後、留学前に留学先を変更した場合や期間内に出発の予定が決まらない場合は取消しとなる可能性有り。

応募方法：下記ホームページをご覧ください。

応募期間：2019年10月1日(火)～11月30日(土)

消印有効

問合せおよび申請書提出先：

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階 公益財団法人 日本心臓財団

Tel. 03-5324-0810 Fax. 03-5324-0822

E-mail: shinsei@jhf.or.jp

URL：http://www.jhf.or.jp/

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 2020年度研究助成の公募について

助成の対象：

〈一般公募研究〉

単年度(2020年4月1日～2021年3月31日)

- ・医学分野：塩類の生理作用、健康に及ぼす影響に関する研究

募集件数および研究助成金額：

〈一般公募研究〉

- ・医学分野：16件程度
- ・研究助成金額：1件あたり120万円以下

応募資格：日本国内の大学、公的研究機関等で研究に携わる人(学生・研究生等を除きます。)

※若手研究者の積極的な応募を期待

応募方法：財団のウェブサイトから2020年度研究助成応募要領(WORD)をダウンロードし、応募要領に基づいて所定の書式に記入のうえ、書面により提出。

応募期間：2019年11月1日～12月10日(必着)

提出先：公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団

〒106-0032 東京都港区六本木7-15-14 塩業ビル3階

Tel. 03-3497-5711

URL：https://www.saltscience.or.jp/

選考結果の通知：財団の研究運営審議会による審査・選考等を経て、3月に応募者へ書面で通知。

第30回(2019年度)研究助成等募集のお知らせ

(公財)福田記念医療技術振興財団では、ME を利用した医療技術に関する研究助成を行っております。2019年4月1日より、次のとおり募集を行います。

公募事業：

①研究助成

(1)個人研究

1件100万円を限度に、6件

(2)共同研究

1件200万円を限度に、5件

②国際交流助成

(1)研究留学

1件100万円を限度に、4件

(2)国際会議出席

1件30万円を限度に、4件

(3)海外からの研究者招聘

1件100万円を限度に、4件

③論文表彰(副賞50万円) 2件

応募締切日(当日消印有効)：

①については、2019年4月25日

※終了いたしました。

②については、

前期分2019年4月25日(出発が2019年7月1日から2020年2月29日まで)

※終了いたしました。

後期分2019年12月31日(出発が2020年3月1日から2020年6月30日まで) ※受付中

③については、2019年12月31日 ※受付中

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付してください。

問合先：〒113-8570 東京都文京区湯島2丁目31番20号
フクダ電子(株)春木町ビル内
公益財団法人 福田記念医療技術振興財団事務局

Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268

URL：http://www.fukudakinen.or.jp/

ACLS 講習会情報

●ACLS プロバイダーコース案内

受講料 (初回受講) 32,000円

受講料 (更新受講) 18,000円 ※受講要件は ACLS 更新コースと同様です。

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者)。なお、臨床経験を有している方が望ましい内容が多く含まれていますので、医療従事者をめざしている学生(医学生、看護学生、薬学部学生など)の受講は原則として認めておりません。

受講申込方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締めきりは延長される場合がございますので、ホームページにてご確認ください。

※2018年11月申込より、ACLS プロバイダー更新は、BLS プロバイダーの有効期限を問わない(有効期限が経過していても良い)といたしました。

申込ページ：http://www.j-circ.jp/jcs_acls/list/course_search.asp

JCS-ITC2019/11/30-01 関東甲信越支部相澤病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年11月30日(土)、12月1日(日)

会 場：相澤病院

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院 循環器科)

11月11日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/12/07-08 関東甲信越支部帝京大学板橋 キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年12月7日(土)、8日(日)

会 場：帝京大学板橋キャンパス

コースディレクター：金子一郎(帝京大学 医学部救急医学講座)

11月6日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2019/12/14-15 近畿支部草津総合病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年12月14日(土)、15日(日)

会 場：草津総合病院

コースディレクター：藤井応理(草津総合病院)

11月15日(金)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部
清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456 / Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

JCS-ITC2019/12/14-15 東海・北陸支部合同名古屋医 療センター AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年12月14日(土)、15日(日)

会 場：名古屋医療センター

コースディレクター：鈴木秀一(名古屋医療センター)
11月22日(金)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365 / Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2019/12/21-22 九州支部熊本市医師会熊本地 域医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年12月21日(土)、22日(日)

会 場：熊本市医師会熊本地域医療センター

コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療セン
ター 循環器内科)

11月24日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：熊本地域医療センター 循環器内科
平井信孝

Phone: 096-363-3311 / Fax: 096-362-0222

E-mail: nobutaka@krmc.or.jp

JCS-ITC2019/12/21-22 東北支部弘前大学医学部附属 病院 AHA ACLS プロバイダーコース

日 程：2019年12月21日(土)、22日(日)

会 場：弘前大学医学部附属病院

コースディレクター：西崎史恵(弘前大学 循環器内
科)

12月12日(木)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/12/21-22 東北支部秋田赤十字病院
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年12月21日(土)，22日(日)

会 場：秋田赤十字病院

コースディレクター：藤田康雄(秋田赤十字病院)

12月10日(火)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjstohoku@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/12/21-22 関東甲信越支部長野赤十字病院
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年12月21日(土)，22日(日)

会 場：長野赤十字病院

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院 循環
器科)

12月2日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/12/21-22 関東甲信越支部本郷マッシュ
アップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年12月21日(土)，22日(日)

会 場：本郷マッシュアップスタジオ

コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻
酔科)

12月4日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/12/21-22 関東甲信越支部獨協医科大学
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年12月21日(土)，22日(日)

会 場：獨協医科大学

コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学 心臓・
血管内科)

12月2日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2019/12/28-29 近畿支部国立循環器病研究セ
ンター AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2019年12月28日(土)，29日(日)

会 場：国立循環器病研究センター

コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究セ
ンター 心臓血管内科)

9月1日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部
清水光則・芥野正子

Phone: TEL: 06-6229-3456/Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

**JCS-ITC2020/01/04-05 関東甲信越支部帝京大学板橋
キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月4日(土)，5日(日)

会 場：帝京大学板橋キャンパス

コースディレクター：金子一郎(帝京大学 医学部救急
医学講座)

12月4日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/01/11-12 近畿支部国立循環器病研究セ
ンター AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月11日(土)，12日(日)

会 場：国立循環器病研究センター

コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究セ
ンター 心臓血管内科)

12月15日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部
清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456/Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

**JCS-ITC2020/01/11-12 四国支部徳島赤十字病院
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月11日(土)，12日(日)

会 場：徳島赤十字病院

コースディレクター：當別當洋平(徳島赤十字病院)

12月20日(金)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：徳島赤十字病院 當別當洋平

E-mail: tobetto325@yahoo.co.jp

**JCS-ITC2020/01/11-12東北支部福島県立医科大学
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月11日(土)，12日(日)

会 場：福島県立医科大学

コースディレクター：花田裕之(弘前大学大学院 医学
研究科)

12月26日(木)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcsstohoku@acsl-jcs.org

**JCS-ITC2020/01/18-19中国支部山口大学医学部
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月18日(土)，19日(日)

会 場：山口大学医学部

コースディレクター：中木村和彦(山口労災病院 麻酔
科)

12月18日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会中国支部事務局(山口大学大
学院 医学系研究科 器官病態内科学内) 大坪
順子

Phone: 080-2933-8695/Fax: 0836-22-2246

E-mail: nichijun@yamaguchi-u.ac.jp

**JCS-ITC2020/01/18-19関東甲信越支部本郷マッシュ
アップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月18日(土)，19日(日)

会 場：本郷マッシュアップスタジオ

コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻
酔科)

1月6日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acsl-jcs.org

**JCS-ITC2020/01/18-19東海支部名古屋医療センター
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月18日(土)，19日(日)

会 場：名古屋医療センター

コースディレクター：都築通孝(名古屋第一赤十字病
院)

12月25日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一

Phone: 052-950-3365/Fax: 052-950-3370

E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

**JCS-ITC2020/01/25-26四国支部近森教育研修セン
ター AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月25日(土)，26日(日)

会 場：近森教育研修センター

コースディレクター：川井和哉(近森病院 循環器科)
1月10日(金)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：高知大学医学部・総合診療部 山崎聡子

Phone: 088-880-2515/Fax: 088-880-2518

E-mail: ahakts@mac.com

**JCS-ITC2020/01/25-26近畿支部国立循環器病研究セ
ンター AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月25日(土)，26日(日)

会 場：国立循環器病研究センター

コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究セ
ンター 心臓血管内科)

12月15日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部

清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456/Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

**JCS-ITC2020/01/25-26関東甲信越支部榊原記念病院
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月25日(土)，26日(日)

会 場：榊原記念病院

コースディレクター：西成真琴(東芝林間病院 循環器
内科)

1月13日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局

佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acsl-jcs.org

**JCS-ITC2020/01/25-26九州支部鹿児島医療センター
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月25日(土)，26日(日)

会 場：鹿児島医療センター

コースディレクター：吉野聡史(鹿児島大学大学院 医
歯学総合研究科 心臓血管・高
血圧内科学)

12月25日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会九州支部 吉田優子

Phone: 080-3904-2364/Fax: 0952-34-2089

E-mail: jcs-kyushu@ml.cc.saga-u.ac.jp

**JCS-ITC2020/01/25-26近畿支部和歌山県立医科大学
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月25日(土)，26日(日)

会 場：和歌山県立医科大学

コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)

12月15日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部

清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456/Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsitc-kinki@congre.co.jp

**JCS-ITC2020/01/25-26関東甲信越支部獨協医科大学
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年1月25日(土)，26日(日)

会 場：獨協医科大学

コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学 心臓・
血管内科)

1月6日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局

佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/01-02関東甲信越支部帝京大学板橋
キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月1日(土)，2日(日)

会 場：帝京大学板橋キャンパス

コースディレクター：金子一郎(帝京大学 医学部救急
医学講座)

1月8日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局

佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/08-09九州支部熊本中央病院 AHA
ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月8日(土)，9日(日)

会 場：熊本中央病院

コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療セン
ター 循環器内科)

1月12日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：熊本地域医療センター 循環器内科

平井信孝

Phone: 096-363-3311/Fax: 096-362-0222

E-mail: nobutaka@krmc.or.jp

**JCS-ITC2020/02/08-09関東甲信越支部榊原記念病院
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月8日(土)，9日(日)

会 場：榊原記念病院

コースディレクター：西成真琴(東芝林間病院 循環器
内科)

2月1日(土)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局

佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/15-16関東甲信越支部長野赤十字病
院 AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月15日(土)，16日(日)

会 場：長野赤十字病院

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院 循環
器科)

1月27日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局

佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/15-16東北支部平鹿総合病院 AHA
ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月15日(土)，16日(日)

会 場：平鹿総合病院

コースディレクター：藤田康雄(秋田赤十字病院)

1月14日(火)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局

佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/15-16関東甲信越支部本郷マッシュ
アップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月15日(土)，16日(日)

会 場：本郷マッシュアップスタジオ

コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻
酔科)

1月29日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局

佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/15-16 関東甲信越支部獨協医科大学
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月15日(土)，16日(日)

会 場：獨協医科大学

コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学 心臓・
血管内科)

1月27日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/23-24 東北支部山形市医師会館
AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月23日(日)，24日(月)

会 場：山形市医師会館

コースディレクター：金谷 透(本町矢吹クリニック
内科)

12月24日(火)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 東北支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcsstohoku@acls-jcs.org

**JCS-ITC2020/02/22-23 近畿支部国立循環器病研究セ
ンター AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月22日(土)，23日(日)

会 場：国立循環器病研究センター

コースディレクター：田原良雄(国立循環器病研究セ
ンター 心臓血管内科)

1月26日(日)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：日本循環器学会近畿支部
清水光則・芥野正子

Phone: 06-6229-3456 / Fax: 06-6229-2556

E-mail: jcsite-kinki@congre.co.jp

**JCS-ITC2020/02/22-23 九州支部佐賀大学医学部附属
病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月22日(土)，23日(日)

会 場：佐賀大学医学部附属病院

コースディレクター：吉田和代(佐賀大学医学部附属
病院 卒後臨床研修センター)

1月22日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：佐賀大学医学部附属病院 卒後臨床研修セン
ター 吉田和代

E-mail: yoshidak@cc.saga-u.ac.jp

**JCS-ITC2020/02/23-24 関東甲信越支部済生会川口総
合病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

日 程：2020年2月23日(日)，24日(月)

会 場：済生会川口総合病

コースディレクター：船崎俊一(済生会川口総合病院)

1月8日(水)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406 / Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

●ACLS EP プロバイダー資格コース案内

コースの特徴：成人の心停止に対する二次救命処置を ACLS プロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLS プロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

本コースを受講していただくことで、同時に ACLS プロバイダー資格を更新することができます。

受講料：18,000円

受講要件：有効期限内の ACLS プロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

BLS プロバイダーカード-インストラクターカードの有効期限は問わない

追補 1) 上記カード提示ができない場合は、受講当日であってもコースの受講をお断りすることがございますのでご注意ください。またカードを紛失している場合などは事前に各コースの責任者(コースディレクター)にご連絡ください。なお、受講希望者多数の場合には施設の重複を避けるなど、地域性も考慮して選考させていただきます。

対象者：原則として医療従事者：医師、救急集中治療の経験のある看護師など

追補 1) ACLS プロバイダーとして実際の臨床経験を積んだ方で、心電図や病態の把握ができることが必要になります。

※下記コースの受講申込については、当会ホームページ「BLS/ACLS 講習会情報」ページよりオンラインフォームにてお申し込みください。

JCS-ITC2020/01/19関東甲信越支部本郷マッシュアップ

プスタジオ AHA ACLS EP プロバイダーコース

日 程：2020年1月19日(日)

会 場：本郷マッシュアップスタジオ

コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院 麻酔科)

1月6日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：JCS-ITC 関東甲信越支部講習会事務局
佐々木和也

Phone: 019-652-5406/Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2020/02/08四国支部徳島赤十字病院 AHA

ACLS EP プロバイダーコース

日 程：2020年2月8日(土)

会 場：本郷マッシュアップスタジオ

コースディレクター：吉川 圭(坂出市立病院)

1月20日(月)まで募集(延長の場合あり)

問合せ：坂出市立病院 吉川 圭

Phone: 070-5516-8708/Fax: 0877-46-2377

E-mail: kei@kayy.sakura.ne.jp

心不全療養指導士制度の創設に関するお知らせ

日本循環器学会では日本脳卒中学会とともに、国家的見地から健康寿命社会を実現するための改善策を訴える目的で2016年12月に「脳卒中と循環器病克服5ヵ年計画」を策定しています。この計画は、脳卒中と循環器疾患を克服するためのあらゆる面からの問題点を抽出し、現時点の科学や技術で改善し得る課題および将来の新たな技術や考え方の方向性を示したものです。その計画のなかで心不全は重要3疾病のひとつと位置付けられ、人材育成、医療体制の充実、登録事業の促進、予防・国民への啓発、臨床・基礎研究の強化の5戦略が提案されています。この度、この5ヵ年計画の人材育成への取り組みの一つとして、日本循環器学会が主体となり「心不全療養指導士(CHFEJ: Certified Heart Failure Educator of Japan)」資格を創設することになりました。

心不全療養指導士の主な役割は、医師以外の医療専門職が、各々の専門職が持つ専門知識と技術を活用しながら、心不全患者に対して最適な療養指導を行うことにあります。

具体的な役割として、

- 心不全の発症・進展の予防の重要性を理解し、その予防や啓発のための活動に参画することができる
- 心不全の概念や病態、検査、治療について理解し、それをもとに病状などを把握することができる
- 心不全の進展ステージに応じた予防・治療を理解し、基本的かつ包括的な療養指導を実施することができる
- 医療機関あるいは地域での心不全に対する診療において、医師や他の医療専門職と円滑に連携し、チーム医療の推進に貢献することができる
- 心不全患者に対する意思決定支援と緩和ケアに関する基本的知識を有している

の5項目が挙げられます。

心不全療養指導士の受験資格者は、以下のすべてを満たす方となります。

- (1) 看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、公認心理師、臨床工学技士、歯科衛生士、社会福祉士の国家資格を有する者

＊上記以外の職種で受験を希望する場合は、学会専門医の推薦を受け、委員会が承認した者に受験資格を与える

- (2) 日本循環器学会会員または準会員である者
- (3) 現在、心不全療養指導に従事している者(職歴の提出)
- (4) 症例報告書5例を提出した者
- (5) 申請書類を不備なく記載・提出し、学会年会費や受験料を納めた者

審査方法、資格更新、認定試験の日程等の詳細については、適宜学会ホームページに掲載いたします。

なお、第84回日本循環器学会学術集会において、関連セッションの開催、広報ブースの設置、心不全療養指導士認定試験ガイドブックの発刊を予定しております。

多くの医療専門職の方の資格取得をお待ちしております。

会員各位

一般社団法人 日本循環器学会
予防委員会 委員長 野出 孝一
禁煙推進部会 部会長 野上 昭彦

会員様の勤務施設における
禁煙対策に関するアンケートの実施について

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、早速ではございますが、2020年3月に京都で開催される第84回日本循環器学会学術集会での第19回禁煙推進部会セミナーにおいて、「HOW TO 禁煙外来」をテーマに、禁煙外来の開設を検討されている循環器医のどなたにでも開設、運営できるための具体的なノウハウを提示できる内容にしたいと考えております。

つきましては、セミナーに先立ち、全国の循環器医の勤務施設における禁煙対策及び禁煙外来の現状、その他、禁煙外来の開設の障害となっている要因や禁煙外来に伴う疑問点等をアンケートとしてお伺いし、セミナーに生かしたいと考えております。

ぜひとも下記 QR コードよりアンケートに入力いただき、ご回答をお願いしたく存じます。（設問は8問となっており、携帯でも簡単にお答え可能です）

いただいた回答および情報につきましては、当会にて適切に管理いたします。

敬具

実施期間：2019年9月～11月末まで

回答方法：WEB 形式

所要時間：5分

質問数：8問

QR コード



教育映像教材販売のご案内

教育研修部会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはファックス(03-6368-9509)で、ご希望のタイトル、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器教育セッション

※DVD-ROMは家庭用DVDレコーダーでは再生できませんのでご注意ください

※座長所属はセッション開催時のもの。

第45回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2017年3月17日(金)～19日(日)

単位申請期間：2019年3月31日

※研修単位の申請期間は終了しております。

セッションⅠ

1. 心臓リハビリテーションでの運動療法の主体は有酸素持久運動か筋力トレーニングか？

座長：後藤 葉一(国立循環器病研究センター心臓血管内科・循環器病リハビリテーション部)

2. EVTの進歩とピットフォールー血管外科医の視点からー

座長：大木 隆生(東京慈恵会医科大学外科学講座)

セッションⅡ 成人先天性心疾患の管理

座長：丹羽公一郎(聖路加国際病院心血管センター循環器内科)

赤木 禎治(岡山大学病院成人先天性心疾患センター)

セッションⅢ 突然死の原因となる致死性不整脈に対する診断と治療

座長：池田 隆徳(東邦大学循環器内科学分野)

渡邊 英一(藤田保健衛生大学循環器内科)

第46回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2018年3月23日(金)～25日(日)

単位申請期限：2020年3月31日(火)

セッションⅠ

1. 経カテーテル弁膜症治療のPit fall～私はこうしている～

座長：高山 守正(榊原記念病院 循環器内科)

志水 秀行(慶應義塾大学 外科(心臓血管))

2. PCIの神髄を極める

座長：小林 欣夫(千葉大学 循環器内科学)

安藤 献児(小倉記念病院 循環器内科)

※Ⅱ・Ⅲについては、サブテーマ毎に座長が入れ替わる例年と異なった企画となっております。

セッションⅡ 循環器内科各分野の新しいエビデンスをどう日本で活用していくか①

1. 不整脈

座長：池田 隆徳(東邦大学 循環器内科学)

渡邊 英一(藤田医科大学 循環器内科)

2. 心臓リハビリテーション

座長：増山 理(兵庫医科大学 内科学循環器内科)

元山 貞子(藤田医科大学 循環器内科)

3. 倫 理
座長：尾崎 行男(藤田医科大学 循環器内科)
田邊 健吾(三井記念病院 循環器内科)
- セッションⅢ 循環器内科各分野の新しいエビデンスをどう日本で活用していくか②
1. 虚 血
座長：中川 義久(天理よろづ相談所病院 循環器内科)
上妻 謙(帝京大学 循環器内科)
2. 心不全
座長：志賀 剛(東京女子医科大学 循環器内科)
佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 循環器内科)
3. 高血圧
座長：代田 浩之(順天堂大学 循環器内科学)
赤石 誠(東海大学医学部附属東京病院 循環器内科)



JCS2019

第47回 循環器教育セッション

会場：パシフィコ横浜 国立大ホール 日時：2019年3月29～31日

DVD-ROM発売!!

DVDはインターネット接続環境でご視聴いただけます。

7月
発行予定

価格 **5,200円** (送料、税別)

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

<収録内容>

教育セッションI

学会1日目 3月29日(金)

I-1. 経皮的僧帽弁形成術 (MitraClip)

座長：
齋藤 滋 (湘南鎌倉総合病院 循環器内科)
荒井 裕国 (東京医科歯科大学 心臓血管外科)
演者：
天木 誠 (国立循環器病研究センター
心臓血管内科部門心不全科)
大野 洋平 (東海大学 内科学系循環器内科学)

I-2. 先天性心疾患のカテーテル治療

座長：
細川 忍 (徳島赤十字病院 循環器内科)
森野 禎浩 (岩手医科大学 内科学講座循環器内科分野)
演者：
原 英彦 (東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科)
白井 伸一 (小倉記念病院 循環器内科)

教育セッションII

学会2日目 3月30日(土)

II-1. Onco-Cardiology? 知っておくべき癌患者の循環器診療

座長：
前村 浩二 (長崎大学 循環器内科学)
竹石 恭知 (福島県立医科大学 循環器内科学講座)
演者：
赤澤 宏 (東京大学 循環器内科学)
藤田 雅史 (大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科)
山田 典一 (桑名市総合医療センター 循環器内科)

II-2. 心不全診療 Up to Date: 高齢化を考える

座長：
増山 理 (兵庫医科大学 内科学循環器内科)
筒井 裕之 (九州大学 循環器内科学)
演者：
絹川 弘一郎 (富山大学 第二内科)
木原 康樹 (広島大学 循環器内科学)
弓野 大 (ゆみのハートクリニック)

教育セッションIII

学会3日目 3月31日(日)

III-1. 急性心筋梗塞の治療から二次予防まで

座長：
尾崎 行男 (藤田医科大学 循環器内科)
伊刈 裕二 (東海大学 循環器内科学)
演者：
尾崎 行男 (藤田医科大学 循環器内科)
伊藤 浩 (岡山大学 循環器内科学)
宮内 克己 (順天堂大学 循環器内科)

III-2. 最近の不整脈管理

座長：
池田 隆徳 (東邦大学医療センター
大森病院 循環器内科)
志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)
演者：
志賀 剛 (東京女子医科大学 循環器内科)
草野 研吾 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
真中 哲之 (浅草ハートクリニック)

※最終的にDVDに収録される内容は演者の先生方のご同意の得られた内容が対象になります。

●動作環境

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレーヤーでは再生できません。
セキュリティの観点よりインターネット接続状態のPCでご視聴が可能となります。

Windows
2.33GHz以上のx86互換プロセッサ
512MB以上のRAM (1GB以上推奨)、128MB以上のグラフィックメモリ
プラットフォーム: Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10
ブラウザ: 最新バージョンのMicrosoft Internet Explorer、Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera
プラグインソフトウェア: Adobe Flash Player

Macintosh
Intel Core Duo 1.83GHz以上のプロセッサ
512MB以上のRAM (1GB以上推奨)、128MB以上のグラフィックメモリ
プラットフォーム: Mac OS X v10.6以降
ブラウザ: 最新バージョンのSafari、Mozilla Firefox、Google Chrome、Opera
プラグインソフトウェア: Adobe Flash Player

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

0120-046-844

FAX: 03-6368-9509

Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

第47回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

第47回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2019年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い (要 E-mail アドレス)	
ご住所(ご送付先) 〒	☐ ご所属先 ☐ ご自宅	
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS_ES47

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託 株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

第83回



日本循環器学会学術集会 DVD-ROM発売!!

パシフィコ横浜での講演記録

会期：2019年3月29～31日

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

これ一枚で**68セッション 274延べ座長・演者、62時間収録!**

DVDはインターネット接続環境でご視聴いただきます。価格 **5,200円** (送料、税込)



<収録内容>

美甘レクチャー	1セッション	国際名誉会員講演 1、2、3	3セッション
真下記念講演	1セッション	特別講演 1、3～12	11セッション
会長講演	1セッション	招聘講演 1～4、6、7、10～18	15セッション
代表理事講演	1セッション	プレナリーセッション 4～7、9～14	10セッション
横浜宣言	1セッション	シンポジウム 3、6～9、14、15、17、18、21、22	11セッション
日本心臓財団50周年記念シンポジウム	1セッション	会長特別企画 5、7、9、10、11、22	6セッション
会長特別講演 2、3	2セッション	トピック 11、15、17、19	4セッション

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。
セキュリティの観点よりインターネット接続状態のPCでご視聴が可能となります。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先 株式会社 メディカルビスタ
TEL: 0120-046-844 FAX: 03-6368-9509 Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人 日本循環器学会
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 18F

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F

第83回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」 から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、
FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

第83回 学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2019年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い (要 E-mail アドレス)	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS83

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託 株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

事務局からのお知らせ

〈会員ポータルサイトについて〉

皆様の登録情報や年会費お支払い状況、学会集会・地方会などの日程・専門医の取得単位数の確認などを行うことができます。また、ご住所などの変更・留学/帰国申請・専門医自己申告単位の申請等も行えます。

会員ポータルサイトへは、ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/> → 会員ポータルサイト からアクセスいただけます。

登録にはメールアドレスが必要となり、会員番号・設定頂いたパスワードでログインしてご利用いただけます。

なお、会員ポータルサイトは利用いただけるブラウザ(インターネット接続ソフト)が限られております。ご了承ください。

PC・Mac：Microsoft Edge, Google Chrome, Firefox, Apple Safari
(Internet Explorer は対応しておりません)

モバイル：Android5以降 Chrome Android スマートフォン・タブレット
iOS11.3以降 Apple Safari iPhone, iPad 等

メールアドレス登録がお済みでない方は、メールアドレス：henkou@j-circ.or.jp よりご連絡をお願いいたします。追ってパスワード設定のメールをお送りいたします。

〈メールアドレス/勤務先(所属医療機関)/ご自宅住所等の届出について〉

学会からのお知らせ・年会費請求書などを確実にお手元にお届けできるよう、随時、メールアドレス/勤務先(所属医療機関)/ご自宅住所等の届出をお願いしております。

会員ポータルサイト(ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/> → 会員ポータルサイト)からの変更をお勧めしておりますが、最終ページの「登録事項変更届」もご利用いただけます。

学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで積極的に発信してまいりますので、Eメールアドレスの登録を是非お願いいたします。

〈会員限定ホームページにつきまして〉

会員限定ホームページは、会員ポータルサイトの開設に伴い統合されております。会員ポータルサイトにログインしご利用ください。

従いまして、UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)の新規ID取得申請は終了いたしました。引き続きUMIN IDはご利用いただけますが、ご利用方法につきましては直接UMINセンターにお願いいたします。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡ください。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代表(下記のどの担当か不明の場合)	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
登録事項変更・入会・退会等	henkou@j-circ.or.jp	
Circulation Journal	cj@j-circ.or.jp	
Circulation Reports	cr@j-circ.or.jp	
地方会	chihokai@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連(AHA 心肺蘇生法講習)	itc@j-circ.or.jp	
IT/Database(JROAD 他)関連	itdatabase@j-circ.or.jp	
ダイバーシティ	divercity@j-circ.or.jp	
会員ポータルサイト	jcs-portal@j-circ.or.jp	
ガイドライン関連	jcsGL@j-circ.or.jp	
学術集会	meeting@j-circ.or.jp	03-5501-0862
各請求書・年会費等	keiri@j-circ.or.jp	03-5501-0863
予防関連	j-yobou@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	03-5501-0864
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	
国際交流	international@j-circ.or.jp	
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[会員ポータルサイトからのお届けをお勧めしております]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: henkou@j-circ.or.jp

Web : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号：	【6桁】	生年月日：19	年	月	日（歳）
フリガナ：					
会員氏名：					
(旧姓名：)					
所属医療機関・勤務先：					
名 称					
部・科					
役 職					
所在地 〒					
代 表 TEL()					
FAX()					
内線					
直 通 TEL()					
FAX()					
旧勤務先名称：					
自 宅：〒					
TEL()					
FAX()					
旧自宅住所：					
所属支部：					
※所属支部は勤務先または自宅の所在地から選択いただけます。記載がない場合は勤務先所在地にて登録いたします。					
E-mail：					
変更希望日：年 月 日 変更			送本先(連絡先)： ☐ 勤務先 ☐ 自宅		
英文誌 Circulation Journal の有償送付(年額 4,000 円)を： ☐ 希望する(正会員のみ) ☐ 希望しない					
会告の有償送付(年額 1,000 円)を： ☐ 希望する ☐ 希望しない					
退 会 届【退会希望者のみ記入】 ※年会費の未納分がある場合、納入があった年度の末日をもって退会となります 年 月 日をもって退会します。					
退会事由：					
事務局への通信欄：					

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

* メールにおける情報発信を積極的に行ってまいります。メールアドレスの変更・登録を是非お願いいたします。